令和4度防府市社会福祉事業団事業報告

Ⅰ．役員等就任状況

1．理事･監事状況

（任　期:選任後2年以内に終了する会計年度(令和4年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

年　月　日	氏　　名	役職名	事項	備　　考
令和4年4月　1日	森　重　　豊	理　事　長	就任	選任後2年以内に終了する会計年度(令和4年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
〃	島　田　文　也	常務理事	〃	〃
〃	柴　田　學　樹	理　　事	〃	〃
〃	長　尾　隆　治	〃	〃	〃
〃	山　本　一　成	〃	〃	〃
〃	山　崎　　元	〃	〃	〃
〃	藤　井　　隆	〃	〃	〃
〃	有富美代子	〃	〃	〃
〃	中　村　信　也	監　　事	〃	〃
〃	寺　畑　俊　孝	〃	〃	〃
令和4年　9月30日	有富美代子	理　　事	退任	
令和4年10月　1日	石　丸　時　江	〃	就任	〃（前任者の残任期間）

2. 評議員状況

任　期:選任後4年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで)

年　月　日	氏　　名	役職名	事項	備　　考
令和4年　4月　1日	松　田　啓　示	評議員	就任	選任後4年以内に終了する会計年度(令和6年度)のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
〃	松　田　和　彦	〃	〃	〃
〃	廣　澤　芳　三	〃	〃	〃
〃	田 村 多 峰 男	〃	〃	〃
〃	山　本　　悟	〃	〃	〃
〃	倉　員　祥　子	〃	〃	〃
〃	乾　　誠	〃	〃	〃
〃	伊　豆　利　裕	〃	〃	〃
〃	岡 田 由 紀 江	〃	〃	〃
令和4年　7月31日	岡 田 由 紀 江	評議員	退任	
令和4年　8月31日	犬　塚　要　二	〃	就任	〃（前任者の残任期間）
令和4年11月30日	廣　澤　芳　三	評議員	退任	
令和5年　3月22日	藤　本　尚　志	〃	就任	〃（前任者の残任期間）

Ⅱ. 議案決議事項

1. 理事会議案決議

議案番号	件　　名	決議年月日
8	令和3年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業報告について	令和4年　6月10日
9	令和3年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団収支決算について	〃
10	令和4年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	〃
11	社会福祉法人防府市社会福祉事業団表彰規則による被表彰者の選考について	令和4年　7月15日
12	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員の候補者の推薦について	令和4年　8月18日
13	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について	〃
14	社会福祉法人防府市社会福祉事業団主要職員の任命について	令和4年10月17日
15	社会福祉法人防府市社会福祉事業団理事の候補者の推薦について	〃
16	社会福祉法人防府市社会福祉事業団職員給与規則中改正について	令和4年12月　7日
17	社会福祉法人防府市社会福祉事業団限定職員給与規則中改正について	〃
18	社会福祉法人防府市社会福祉事業団特別雇用職員給与規則中改正について	〃
1	令和4年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和5年　3月17日
2	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業計画について	〃
3	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団予算について	〃
4	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員の候補者の推薦について	〃
5	社会福祉法人防府市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について	〃
6	社会福祉法人防府市社会福祉事業団役員等報酬及び費用弁償規則中改正について	〃
7	社会福祉法人防府市社会福祉事業団職員就業規則中改正について	〃
8	社会福祉法人防府市社会福祉事業団限定職員就業規則中改正について	〃
9	社会福祉法人防府市社会福祉事業団職員給与規則中改正について	〃
10	社会福祉法人防府市社会福祉事業団育児・介護休業に関する規則中改正について	〃
11	社会福祉法人防府市社会福祉事業団主要職員の任命について	〃

2. 評議員会議案決議

議案番号	件　　名	決議年月日
4	令和3年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団収支決算について	令和4年　6月27日
5	令和3年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	〃
6	社会福祉法人防府市社会福祉事業団理事の選任について	令和4年10月25日
1	令和4年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団補正予算について	令和5年　3月28日
2	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団事業計画について	〃
3	令和5年度社会福祉法人防府市社会福祉事業団予算について	〃
4	社会福祉法人防府市社会福祉事業団役員等報酬及び費用弁償規則中改正について	〃

Ⅲ. 事務局及び各施設事業実績報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染が全国及び防府市においても感染が拡大する状況下で継続して利用者の安全を第一に考え感染対策を講じてまいりましたが、施設・事業所で感染が発生し、休園や利用の自粛をお願いする期間がありました。これにより3年連続で施設の開所日数や利用人数の減少により、減収等経営への影響がありましたが、各施設・事業所で感染拡大防止のための対策を徹底し、利用者の安心・安全を第一に事業運営の継続に取り組みました。

人材面では前年度末に正規職員3名の退職があり当年度には新規に正規職員4名の採用を行ないました。また、新規採用職員を対象に6か月の新任研修実施、在職の職員は、外部の各種専門研修に積極的受講を推進しました。各施設・事業所においては、継続して福祉サービスへの資質向上に対し意識を高く持ち、常に利用者やその家族の視点に立った支援の提供のための取り組みを強化しました。

経営全般では、自立経営のための取り組みとして適時、組織体制の整備や改善を図るとともに健全な経営基盤の確立のための経営に努めました。また、職員就業規則、給与規則をはじめ各種規則の改正を実施しました。

1. 事務局

法人業務である理事会・評議員会の運営や、事業運営の透明性、経営の効率化、収益率の向上を図り、施設管理業務の円滑な事業推進に努めました。

また、利用者支援サービスの向上のため法人内施設及び関係機関との連携を強化し、会議等の調整を図りました。

事業団の使命を十分果たせるよう、次の事項に重点をおいて健全経営の推進に努めました。

◎適正な事業運営と経営自立化の推進

経営基盤の構築に向けて業務適正化や効率化を図るため特定施設のモニタリングの継続実施や市障害福祉課とのモニタリングを活用することで法人及び施設・事業所の改善を推進し、経営自立化に努めました。

◎福祉拠点機能の推進と地域貢献

地域における公的な取り組みとして、引き続き市内の福祉施設・事業所及び自治体との、連携、調整に努めました。また、防府市社会福祉施設連絡協議会事務局として農福連携のための調整や取り組みに積極的な協力に努めました。

◎魅力ある職場づくり

職員の勤怠管理の強化を継続、特に一般事業主行動計画の取り組みとして職員の年次有給休暇取得の推進及び時間外勤務の縮減に積極的に取り組みました。また、雇用形態別の業務内容や業務量の適正化の推進、業務の課題などが共有されるよう継続して職員の職場環境の改善及び組織の円滑な運営に努めました。

◎事業団施設の連携した取り組み

事業団内施設・事業所の連携強化による支援の充実のため事業団支援の調整に努めました。また、各種サービスや施設機能、人材情報等を共有して効率かつ安定的な組織運営に取り組みました。地域生活支援や施設機能を発揮することでセーフティネット機能の維持を図り経営資源の供用等による経営の安定と充実を推進することで利用者の支援の向上に努めました。

◎関係機関との連携

福祉・保健・医療の関係機関や行政と連携を図り、地域に開かれた施設として、拠点施設の役割や地域福祉活動への取り組みを通して地域福祉の充実に努めました。また、保護者との連携強化を継続して推進し、利用者・保護者からの苦情・要望に迅速に対応、改善を図ることで安心できる施設づくりの推進に努めました。

◎人材育成・定着、専門性の向上

新任職員研修やフォローアップ研修の開催や外部の専門職研修への積極的参加を推進し、継続して利用者本位の質の高いサービスを提供するための人材育成及び経営基盤の強化に努めました。また、職員の専門性向上のための国家資格等を奨励するため職員資格取得奨励金交付要綱を設置し令和4年度は、2名の資格取得者に対し奨励金を交付しました。

施　設　名	防府市愛光園

主な実施事業	生活介護
	就労継続支援Ｂ型
	就労移行支援

1　事業実施状況（総括）

前年度同様に、新型コロナウイルス感染による影響が続きました。園内においても陽性者が判明し、生活介護事業では 9/7（水）～9/14（水）の間、就労継続支援Ｂ型事業・就労移行支援事業では 9/9（金）～9/14（水）の間を休園しました。このような状況の中、就労では新たな取引先の開拓などに努め、情勢の変化に対応できるようにと考えてきました。また、生活介護では感染対策の徹底を図り、日々の生活の充実を意識しながら支援に取り組みました。

2　事業別実施状況

①　生活介護事業

実施内容	利用者に、潤いのある時を過ごしていただくよう、レクリエーション、創作活動の他に、散歩、ストレッチ及び生産活動などを実施しました。特に、日常生活を過ごす上で、必要とされる身体機能の維持・向上に努めるため、利用者のニーズを確認してストレッチや散歩の機会を増やし、積極的に身体を動かしていただきました。また、希望される方のシャワー浴を行なうなど、日常生活に必要な支援を提供しました。また、職員が強度行動障害に係る資格を取得し、体制を整え、強度行動障害のある方へのきめ細やかな支援を行なっています。
成果/評価	12 名の定員に対し年度途中１名減少となり 17 名の在籍となりました。日々の新型コロナウイルス感染防止対策を行ないましたが、園内において陽性者が判明し、生活介護事業では 9/7（水）～9/14（水）の間休園し、開所延べ日数が 3 日減、利用延べ人数が 500 名減、日々の平均利用者数は 8.09 名（前年度 10.29 名）でした。 引き続き日々の感染防止対策を実施したうえで、PT による指導と健康運動指導士によるストレッチ体操でのアドバイスを生かし、日々の活動に簡単な運動を取り入れた結果、生活動作の改善などが見られた方もおられました。

② 就労継続支援Ｂ型事業

実施内容	通所による福祉的就労や生産活動の機会を提供し、より自立した日常生活を営むことができるよう就労能力や工賃の向上を目指した支援の提供を行ないました。 園芸及び陶芸の自主生産品の生産・販売を行ないました。園芸においては農福連携事業により、ＪＡの技術指導を受け、直売所での販売をすることで売上がさらに向上しました。陶芸においては陶芸家による指導などにより、よりよい製品作りを目指しました。 また、支援学校の実習を積極的に受け入れ、将来の利用者増につながるよう努めました。
成果/評価	42 名の定員に対し、年度途中 5 名減少となり 44 名の在籍となりました。日々の新型コロナウイルス感染防止対策を行ないましたが、園内において陽性者が判明し、就労継続支援Ｂ型事業では 9/9（金）～9/14（水）の間休園し、開所延べ日数は 3 日の増、利用延べ人数が 585 名減、日々の平均利用者数は 33.69 名（前年度 36.55 名）でした。これは、新型コロナウイルス感染予防に関する自主的な自粛やワクチン接種による体調不良の欠席などが影響したと思われます。 就労収益は、イベントの中止等の影響がありましたが、ＪＡ直売所での売り上げの増加により、収入は前年度の 9,912,591 円から 10,457,568 円と増加し、平均工賃額も前年度の 12,337 円から 14,666 円と増加しました。

③ 就労移行支援事業

実施内容	4 月から 1 名の利用者と契約し、昨年度からの利用者と併せて、契約者は 2 名で作業に取り組むとともに、一般就労に向けた就労移行プログラムを実施し、登園の習慣と仕事をするという意欲を高めるための支援を行ないました。2 年目の利用者は最終年となるため、今後、進路を選択するための適切な支援を行ないました。また、今後の支援につなげるためにも、支援学校の実習生を積極的に受け入れました。
成果/評価	6 名の定員に対し 2 名の在籍でした。日々の新型コロナウイルス感染防止対策を行ないましたが、園内において陽性者が判明し、就労移行支援Ｂ型事業では 9/9（金）～9/14（水）の間休園し、開所延べ日数は 3 日増し、利用延べ人数が 178 名増し、日々の平均利用者数は 1.69 名（前年度 0.97 名）でした。 就労移行プログラムに取り組むことで、就労に対する意識改善などができました。

3　取り組み報告

①　人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	人権侵害に関する自己チェックの実施	6 月、9 月、3 月に実施した
	虐待防止の自己チェックの実施	6 月、9 月、3 月に実施した
	虐待防止マニュアルの整備	6 月、9 月、3 月に実施した
	虐待防止検討委員会の開催	2 月に開催し、利用者満足度アンケートの内容などから、虐待防止に関することを検討した
	利用者満足度調査の実践	1 月に利用者と保護者それぞれにアンケートを実施し、要望などについては、随時、支援に取り入れた
	外部研修への職員の派遣	山口県障害者虐待防止・権利擁護研修を 12 月に受講した
	虐待防止・権利擁護研修の実施	人権侵害ゼロへの誓い宣言書及び倫理綱領の読み合わせを実施した 1 月にグループワーク形式での虐待防止内部研修をした 2 月に県主催研修の伝達研修を行なった
苦情・相談への適切な対応	苦情の受付、受付箱の設置	受付箱を設置し、随時受付を行なった
	アンケートの受付	1 月に苦情受付用紙を利用者に配布し、記入・提出していただき大きな苦情はなかったが、細かな要望については、随時、支援に取り入れた
	苦情解決委員会の開催	2 月に開催した
	解決が難しい場合は第三者委員への報告及び判断を仰ぐ	本年度はなかった
障害者差別解消法への対応	職場研修の実施	職員会議に合わせて実施した
	外部研修への職員派遣	山口県障害者虐待防止・権利擁護研修を 12 月に受講した
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	管理方法の確認	成年後見制度の紹介を行なった

② 支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	リスクマネジメントの実施	事故報告の事例を検証し、再発防止に努めた
	ヒヤリハットの検証	ヒヤリハット報告書の作成を促し、検証を行なう体制を整えている
	感染症の研修	感染症予防対策マニュアルの整備を行なった
	個人情報管理の徹底	記録開示請求の承諾書を作成し、管理の徹底を図った
支援技術の向上	職場研修の実施	就労支援会議、生活支援会議に合わせて実施した
	外部研修への職員派遣	キャリアパス研修（初任者コース）、就業支援基礎研修、強度行動障害研修、サビ管、相談研修などに参加した
提供サービスの点検	サービスの自己評価の実施	実施に向け、検討している
	利用者満足度調査の実施	2 月に実施し、内容を検討し、支援に組み込んだ
生活環境の充実	嗜好調査の実施	11 月に実施した結果を検討し、給食内容に反映させた
	カーテン、ロッカー等の定期的更新	随時更新を行なった
	環境美化の実施	重点場所の設定を変え実施した（1 回/月） また、10 月に保護者の協力により、清掃活動を行なった
創意工夫による業務の改善	業務改善活動	就労支援会議・生活支援会議・職員会議に合わせて実施した
	職員提案制度の導入	就労支援会議・生活支援会議・職員会議に合わせて実施した
地域と利用者の交流促進	地域行事への参加	新型コロナウイルス感染拡大により、地域行事は中止
	地域小中学校との交流	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
セーフティネット機能の推進	園者の動向把握と必要に応じたサービスの調整	動向把握のため、相談支援事業所との情報共有を行なった
	相談支援事業所と通じた情報収集と他機関と連携した支援	相談支援事業所との情報共有を心掛けた
地域生活支援	関係機関と連携し、個別支援計画に基づいて、地域移行等を進める	相談支援事業所と連携し、施設変更等に対応した
	就労後の職場定着のための支援	本年度はなかった
個人情報保護の徹底	職員倫理綱領及び情報公開規程の徹底	毎月、職員倫理綱領の読み合わせを実施した

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	陶芸教室、園芸教室の実施 地域小中学校での研修会への講師派遣	新型コロナウイルス感染防止のため中止
		新型コロナウイルス感染防止のため中止
ライフステージに対応したサービス調整	支援提供者との連絡会議	4 月に防府総合支援学校に、園の事業について説明に伺った 6 月に防府総合支援学校の進路懇談会に参加した 2 月に防府総合支援学校の個別の進路相談会に参加した
	施設見学	7 月に防府総合支援学校中等部 3 年生の生徒と保護者が施設見学に来られた その他、個別に 1 件の施設見学を受けた
	支援学校等の実習受け入れ	防府総合支援学校高等部 3 年生 4 名、2 年生 4 名、1 年生 1 名の実習を受け入れた 3 年生の 2 名は数回の実習を重ね、新年度に愛光園と契約された

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	園だよりの発行	毎週金曜日に発行 保護者への情報提供を行なった
	ホームページ記事の掲載	記事の更新はなかった
	地域とのイベントの実施	地元公民館で園芸品の無人販売、地元郵便局で陶芸品の委託販売を行なった
参画・政策提言	防府市総合支援協議会への参加	就労支援部会、研修部会に参加した
	防府市農福連携検討会議への参加	参加した
地域貢献活動の推進	愛光園まつりの実施	新型コロナウイルス感染予防のため、中止

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	社会福祉士、保育士養成校からの実習生受け入れ	8・11 月に山口県立大学から 2 名の介護体験実習を受け入れた 9 月に山口短大から 1 名の保育実習を受け入れた
職員の育成	個別人材育成計画に基づいた研修の実施	事業団として、新任研修を行なった
	職場内研修の実施	就労支援会議、生活支援会議に合わせて実施した
教育研修の充実	外部研修への積極的参加	キャリアパス研修（初任者コース）、就業支援基礎研修、強度行動障害研修、サビ管、相談研修、虐待防止・権利擁護研修などを受講した
	理解度に応じた再研修の実施	理解度に応じた資料の提供を行なった

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告（内容・評価）
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇の取得	自由取得の呼びかけをし、年休取得ができた
	夏季休暇の 100％取得	盆休みを実施するなどして、100％取得した
自己啓発の促進	資格取得の推奨	資格取得の呼びかけをしている
	自己啓発研修参加への勤務配慮	相談があった場合は、勤務への配慮を行なっている
風通しのよい職場づくり	役付き職員による計画的な面談等の実施	計画的な面談はできなかったが、職員の発言に耳を傾けるよう心掛けた
	他事業所との勤務連携	大平園、なかよし園との情報共有に努めた
職員体制・連携強化への取り組み	業務を精査し必要なところに職員を重点的に配置	計画会議で個々の業務量を精査し、来年度の業務分担に反映した

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告（内容・評価）
経営改善のための取り組み	経費削減への取組	経費の必要性を検討し、倹約に努めた
	支援学校の実習生や見学者の受入による契約者の増加	支援学校からの実習を積極的に受け入れ、将来の利用者増に努めた 利用の相談が３件あり、契約に至った
	ニーズと利用率の上昇	利用の相談が３件あり、契約に至った
	加算の精査による収入の増加	新たな加算を算定した
経営意識の醸成	経営分析の実施	収支の検討を行なった
	会議で利用状況、収支報告の情報の共有	毎月、職員会議にて収支報告を行なった
予実管理の徹底	収入と支出の管理	適切な管理を行なった
	就労会計における収入と支出の精査による工賃向上	各作業の収入と支出の精査を行なった

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告（内容・評価）
コンプライアンスの推進	コンプライアンスについての意識付けを図る	就労支援会議、生活支援会議、職員会議に合わせて、意識付けを行なった
労務管理の徹底	業務手順での事務処理対応時間の明示	パソコン環境の整備やケース入力内容の簡略化など、事務処理の効率化を図った

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	避難訓練の実施（1 回/月）	計画通りに実施できた
	2 次災害を想定した避難訓練	2 次災害を想定したシミュレーションをした
	防犯訓練の実施	2 月に実施
	防犯に係る安全確保のための施設設備面の方策を講じる	防犯用具の確認、整備を実施し、特に生活介護棟での用具や避難経路の確認を行なった
災害協力・安全協力体制の推進と整備	合同防災訓練の実施	なかよし園との合同防災訓練を実施
	地域防災組織との連携強化	6/1 に土砂災害情報伝達訓練を実施
	地域との協同による防犯意識の醸成	情報の共有に努めた

4　利用状況

利用者月別在籍状況（単位　人・日・件）

事　業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍	生活介護	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
	就労継続 B 型	49	48	47	47	47	47	46	45	45	45	44	44	554
	就労移行	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	計	69	68	66	66	66	66	65	64	64	64	63	63	784
開所日数（生活）		20	20	22	21	21	13	21	20	21	20	20	22	241
開所日数（就労）		20	20	22	21	21	15	21	20	21	20	20	22	243
利用延べ人数	生活介護	195	191	180	166	159	93	166	166	168	152	150	165	1,951
	就労継続 B 型	729	687	777	694	713	465	703	662	697	638	664	760	8,189
	就労移行	38	38	41	33	28	29	34	33	36	30	34	39	413
	計	962	916	998	893	900	587	903	861	901	820	848	964	10,553

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
生活介護	12	1,951	67.5	前年度比：79.6%
就労継続 B 型	42	8,189	80.2	前年度比：93.3%
就労移行	6	413	28.3	前年度比：175.4%

6　実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備　　考
令和４年５月 21 日	休日開所（ドライブ・作業）	23	
令和４年６月 19 日	ナイスハート・ふれあいの集い	21	
令和４年７月 23 日	休日開所（ドライブ・作業）	18	
令和４年９月 30 日	交通安全教室	40	
令和４年 10 月８日	休日開所（ボウリング・作業）	19	
令和４年 11 月 28 日	食事会（生活介護）	9	
令和４年 11 月 30 日	食事会（就労）	37	
令和４年 12 月 24 日	クリスマス会	34	
令和４年 12 月 28 日	茶話会（年末仕事納め）	42	
令和５年１月 13 日	どんど焼き	43	
令和５年１月 14 日	初詣	23	
令和５年２月３日	節分	35	
令和５年２月 18 日	休日開所（DVD 鑑賞・作業）	17	
令和５年３月 31 日	茶話会（年度末仕事納め）	47	
実施行事は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施しました。			

7　地域貢献活動、職員研修等について

新型コロナウイルス感染拡大のため、地域との交流のある行事は、中止となりました。その中で、牟礼郵便局での干支土鈴の委託販売や牟礼公民館での園芸品の無人販売など、当園を地域の方に知っていただけるよう努めました。

研修については、新型コロナウイルス感染予防をして開催される傾向がみられ、内容を検討して、積極的に参加しました。

(職員研修状況・外部研修)

・介護事業者のための事業継続計画セミナー(5/18)・障害者福祉施設基礎コース【新任職員研修】(5/26)・新型コロナウイルス感染症に関する勉強会（6/1）・ソーシャルワーク実習報告会（6/2）・就業支援基礎研修（6/7, 10, 13）・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者コース】（6/14,15）・福祉の仕事インターンシップ事業に係る事業所説明会（6/22）・令和４年度福祉施設におけるリスクマネジメント研修（オンライン）・令和４年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員コース）（7/13-14）・相談支援従事者初任者研修（7/26-27、8/25、9/27-28）・強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）（7/28-29）・防府市地域総合支援協議会研修会（8/2）・県知的障害者福祉協会初任者研修（8/4-5）・防府市地域総合支援協議会研修会（8/10）・県知的障害者福祉協会障害者虐待防止徹底研修会（8/18）

・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース）（8/18-19）・防府市地域総合支援協議会就労支援部会（10/18）・医療観察制度地域連絡協議会（10/27）・メンタルヘルス講習会（11/15）・県知的障害者福祉協会経理事務研究会（11/15）・山口県知的障がい施設福祉振興大会（11/17）・虐待防止研修（11/22）・県知的障害者福祉協会日中活動支援部会研究会（12/5）・防府市障害者福祉啓発セミナー（12/5）・特定給食施設等研修（Web）

・県知的障害者福祉協会強度行動障害研修（1/13）・防府市地域総合支援協議会就労支援部会（1/24）・インボイス制度に関する研修会（2/8）・障害者福祉施設基礎コース【新任職員研修】フォローアップ研修（2/13）・福祉サービス苦情解決責任者研修会（2/14）・就労支援事業所における虐待研修会（2/17）・防府市地域総合支援協議会就労支援部会（3/14）・防府市地域総合支援協議会研修部会（3/20）・新任職員等フォローアップ研修（3/10）（職員研修状況・内部研修）・倫理綱領の読み合わせ（毎月）・行動基準の読み合わせ（毎月）・虐待防止研修（1/20）・外部研修の報告の実施（随時）

施　設　名	防府市大平園

主な実施事業	生活介護
	施設入所
	短期入所
	日中一時支援

1　事業実施状況（総括）

個別支援計画に沿って、余暇活動を含む日常生活全般にわたる支援を実施しました。

利用者の高齢化・重度化により、日々、状況が変わりますが、情報の共有を重視し、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めました。

コロナ禍も3年目となり、活動については制約がある中、新型コロナウイルス感染予防に注意し、方法を模索しながら行ないました。11月には、男子棟で新型コロナウイルス感染症クラスターとなりましたが、他事業所からの協力を得て、事業継続することができました。

2　事業別実施状況

①生活介護事業

実施内容	・身体機能の低下を防ぐため、個々の状況に合わせた軽運動を提供しました。また、歩行能力の維持のため、園舎周りの歩行運動を行ないました。 ・外出を少人数で再開、誕生日外食をテイクアウトで実施するなど、利用者の方が楽しみにしている活動を実施できる方法で行ないました。 ・園内での行事を工夫し、外部行事の代替となるように日帰り旅行としてホテルでの昼食を行ないました。
成果/評価	・前年度に実施した行事は継続し、新型コロナウイルス感染対策を意識した上で再開できる活動を増やすことができました。 ・外部の行事がほぼ中止になっていることもあり、園内でできる活動を検討し実施したことにより、利用者へ充実した生活の場が提供できました。

②　施設入所事業

実施内容	・栄養マネジメントを実施することで、「食べる喜び」の充足と、低栄養・肥満の改善及び予防、高齢者の生活機能の維持・向上に努めました。 ・快適な暮らしの実現のため、入浴や整容、居室の環境など、状況にあった支援を提供しました。 ・高齢化や重度化により、心身状況の変化が顕著になってきており、それぞれの状況に応じた通院などを実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症クラスターがあり、陽性者の入院は難しい状況であったため、園内での療養体制をとり支援しました。

成果/評価	・栄養マネジメントの取り組みで、課題について保健担当や支援員と協議の上、解決に向けた取り組みを行ないました。これにより、利用者の健康状態の具体的把握につながりました。 ・新型コロナウイルス感染症クラスターが発生しましたが、保健所などの指示に従い、男子棟内での感染拡大にとどめることができ、一部、他事業所の協力を得ながら、事業の継続ができました。

③　短期入所事業

実施内容	新型コロナウイルス感染防止のため受け入れは慎重に行ない、利用前の自宅での様子観察をしていただける方については受け入れを行ないました。また、緊急事案については状況を検討した上で受け入れを行ないました。
成果/評価	市内での感染状況と園の入所者の状況を考えると、安全な運用方法を行わざるおえませんでした。しかし、緊急時の受け入れについては、十分対応検討することでセーフティネットとしての役割を果たすことができました。

④　日中一時支援事業

実施内容	新型コロナウイルス感染防止のためほとんどの受け入れができませんでした。
成果/評価	受け入れができない状況が続き、在宅障害者（児）の地域生活支援には貢献できていません。（今後、新型コロナウイルス感染状況により、受け入れを再開する予定です）

3　取り組み報告

①　人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	事業団職員倫理綱領及び、大平園行動基準の遵守	4 月に読み合わせを実施し、遵守に努めた
	人権・虐待防止セルフチェック（4 回/年）	計画通り、実施した
	虐待防止マニュアルの遵守	虐待防止マニュアルの周知を行なった また、虐待防止研修を 7 月と 2 月に行なった
	身体拘束マニュアルの遵守	身体拘束防止マニュアルの周知を行なった
	内部研修の実施	毎週、職員による福祉に関する話題の発表や知的障害のある方を支援するための行動規範の読み合わせを行なった
	支援計画作成過程等において、合理的配慮について検討	支援計画のモニタリングを実施（2 回/年） その中で合理的配慮について意識して検討した

	年1回～2回虐待防止委員会の開催	3月に虐待防止委員会を開催した
	権利擁護、虐待防止に関する内部研修の実施	虐待防止研修を7月と2月に行なった それぞれ、小グループで数回に分けて行い、職員全員が参加した
	権利擁護、虐待防止に関する外部研修への職員参加	山口県虐待防止研修会、山口県知的障害者福祉協会権利擁護研修会、福祉セミナー等の外部研修に参加した
	成年後見制度の利用の推進	利用者の状態や環境の変化など、必要に応じて利用に勧めた
	身体拘束適正化委員会の設置・運営	3月に身体拘束適正化委員会を行なった
苦情・相談への適切な対応	利用者ミーティングの実施(1回/月)	毎月、月末に各棟ミーティングを実施、同月の行事の様子、生活面の取り組み、来月の行事の予定などについて説明し、意見を伺った
	テーマを設定して利用者の意見を聴取(12回/年)	あいあいミーティングとして毎月実施した
	苦情の受付・意見箱の設置	意見箱の確認を行なった 苦情などの投函はなかった（2回/月）
	苦情についての協議内容・対策方法については「利用者朝礼」及び「あいあいミーティング」において説明	計画通りに実施した 苦情などの意見はなかった
	「アンケート調査」を実施・報告	計画通りに実施した 意見交換会が開催できなかったので、結果は郵送にて報告した
障害者差別解消法への対応	内部研修の実施（ケアプラン、モニタリング、事故分析等において、利用者への合理的配慮について検討）	実施のモニタリングで利用者にあった環境の改善や、支援内容を検討した（2回/年）
	利用者の障害や特性及び、必要な配慮を記した個人票を適宜更新	変更があれば、フェイスシートを更新した モニタリング時にはアセスメント内容を確認した
	外部研修への職員参加	11月に、虐待防止・権利擁護研修に参加した
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	金銭管理委託契約書に基づき、貴重品を適性に管理	適正に管理した
	毎月預り金の会計報告を作成、帰省時に身元引受人の確認	毎月預り金の会計報告を作成し、帰省しない方など毎月の確認が出来ないケースもあるが、ケアプラン承認で来園された時等に確認していただいた
	利用者の私物の購入・管理については、利用者の意思を最優先	利用者の意思を最優先し管理した 選択に間違いがある時は説明して納得してもらえるよう努力した
	成年後見制度の積極的な活用	利用者の状態や環境の変化など、必要に応じて利用を勧めた

② 支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	インシデント、アクシデントの報告と分析及び支援計画への取り込み	事故報告書をその都度、提出し、ケアプラン会議で内容を検討し、支援計画に反映させた
	職員行動基準の読み合わせ	4 月に実施した
	看護師を中心とした健康管理	看護師が現場に積極的に関わり、自分の目で利用者を確認するとともに、利用者の訴えや支援員からの情報によって、利用者の状態の変化や体調を把握し、適時適切な利用者への健康面の支援と支援員への指導・助言を行なった また、持病の通院・服薬支援を行なった 入院された場合にも病院と適宜情報交換を行ない、退院後も不安なく過ごせるようにした
	管理栄養士による栄養マネジメントの実施	栄養マネジメントを行ない食生活から利用者の健康の維持に努めるとともに、介護食器や個別に対応した食事環境を整えることで、スムーズな食事摂取を実現した
	防災・防犯について利用者に説明するとともに、訓練を実施	5 月に、災害時の避難について説明した 3 月に、防犯訓練を実施した
支援技術の向上	外部研修への積極的参加及び報告の徹底	積極的に参加し、復命書は全職員で供覧した
	毎年テーマを設定して内部研修を実施	木曜日の終礼後にテーマ研修を実施した
提供サービスの点検	ケアプラン会議、モニタリングの実施(2 回/年)	計画通りに実施した
	利用者・身元引受人の評価をアンケートにより実施(2 回/年)	計画通りに実施した
	次年度事業実施要項作成に向け、本年度の事業内容について反省、評価、2 月より計画会議を実施	計画通りに実施した
	利用者満足度調査の実施(1 回/年)	1 月に実施した 内容を検討し、翌年度の計画に反映させた
	身元引受人による施設の評価(1 回/年)	12 月に実施した
生活・支援環境の充実	個々の障害に合わせた日常生活用品の検討・導入	利用者の方の使いやすさを第一に、生活用品を検討し、必要なものは導入した
	身体の状態に合わせ、ベッドや車いす、歩行器などの積極的導入	利用者の身体の状態により、ベッドや歩行器を導入した

	既存のルールに拘らず、利用者が生活しやすいよう、環境を改善	介護用ベッドや歩行器の需要が増えたため、居室1室のスペースを広げ、歩行器でベッドまで行けるように改装した
	施設内外の環境美化（1回/月）	日々の掃除の徹底と環境整備を行なった
創意工夫による業務の改善	計画会議において、事業実施状況について評価・分析し、業務効率化のための改善を実施	2月より計画会議を実施し、業務の反省・評価を行ない、新年度の事業実施要項に反映させた
地域と利用者の交流促進	地域行事への参加	新型コロナウイルス感染予防のため中止した
	一般事業主行動計画の策定・実施	コロナ禍のため、計画の策定ができなかった
セーフティネット機能の推進	短期入所及び、日中一時支援を実施 ※緊急な利用ニーズへの柔軟な対応	新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ前に自宅での様子観察をお願いし、突発的な緊急の短期入所利用については受け入れをした 日中一時支援については、受け入れができていない
	相談支援事業所等との連携	短期入所及び日中一時支援の受け入れ条件などについては、その都度、説明を行なった
地域生活支援	短期入所・日中一時支援を実施	新型コロナウイルス感染防止のため、条件付きでの実施となった
	地域生活移行希望者には関係機関と連携して調整	利用者の方の希望に沿うよう、体制を整えた
個人情報保護の徹底	職員行動基準の読み合わせ	4月に実施した
	防府市社会福祉事業団倫理綱領の確認	4月に実施した
	個人情報の取り扱いに関する同意書と管理の徹底	個人情報の開示については“個人情報の取り扱いに関する同意書”に沿うことの確認した

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	地域への公益的取組の検討	コロナ禍のため、活動できていない
	一般事業主行動計画の策定・実施	コロナ禍のため、計画の策定ができていない
ライフステージに対応したサービス調整	長期休みの間、放課後等デイサービス終了後の児童の積極的受け入れ(日中一時支援)	コロナ禍のため、日中一時は受け入れを中止した
多様な福祉サービス事業の提供	実習の受け入れ	コロナ禍のため、受け入れはできていない

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信	ホームページの有効活用	施設情報については、情報を発信した
参画・政策提言	防府市総合支援協議会への参加	防府市総合支援協議会研修会に参加した
地域貢献活動の推進	地域の行事等への積極的参画	コロナ禍のため、行事が中止された

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	実習の随時受け入れ	コロナ禍のため、受け入れはできていない
職員の育成	各部会(生活、日中活動、ゆとり)に所属し、所属した部会の活動及び会議に参画することで、職員の育成を図る	各部会とも、新型コロナ感染対策にも柔軟に対応し、その制約の中でも、より良い活動を目標に積極的に取り組んだ
	ケアプラン会議、モニタリング会議を通し、利用者支援を学ぶ	それぞれの会議で、個別支援計画について意見の交換を行ない、サービス管理責任者だけでなく、看護師、栄養士も積極的に関わり助言をした
	個人目標を掲げ、モニタリングを行う（２回/年）	4 月に個人目標について発表し、支援員室に掲示した 11 月の新型コロナウイルス感染症クラスターの対応などにより、半期のモニタリングはできていないが、3 月よりモニタリングを行なった
	行事の企画参加、実施	コロナ禍で感染対策を行ない、企画、実施を行なった
教育研修の充実	外部研修への参加	県社協福祉研修センター、知的障害者福祉協会の研修を中心に、積極的に参加した
	職員会議で研修報告の徹底	職員会議に口頭で報告し、復命書は供覧している
	内部研修の実施	虐待防止研修を行なった（2 回/年） また、終礼後に曜日ごとに設定した研修を行なった

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇が取得しやすい環境づくり	全職員、有給取得実績があり、業務に支障がない限り、自由にとれるシステムとなった
	夏季休暇の 100%取得	100%取得した
	勤務配慮(柔軟な勤務交代等)	業務に支障がないよう、柔軟に対応した

自己啓発の促進	各資格取得の推奨と勤務配慮	資格取得希望があった時は勤務に配慮した
風通しのよい職場づくり	実習生の積極的な受け入れ	コロナ禍のため、受け入れはできていない
	ボランティアの受け入れ	コロナ禍のため、受け入れはできていない
	職員のモニタリング実施	その都度、職員から話を聞き、現場の状況把握に努めた
職員体制・連携強化への取り組み	他事業所との積極的連携	コロナ禍でしたが、必要時には連携をとるよう心掛けた
	柔軟な職員配置の検討（早出・遅出）	利用者の状況により、朝食時及び夕食時の対応が夜勤者１人では難しいため必要な職員を配置した

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	経費削減の取り組み	新型コロナウイルス感染症クラスター対策のため、衛生用品の経費が増大した また、設備の老朽化による修繕費も削減することが難しい状況だった
	生活用品の管理(生活部会)	生活用品の使用状況について、使い過ぎがないか担当でチェックした
	利用率・収入の増加	高齢化により、逝去された利用者や入院される利用者が増加したが、その中で愛光園やわかくさ園の利用者が新たに入所された
経営意識の醸成	職員会議で利用状況及びそれに伴う収支の報告	定員割れや長期入院、新型コロナウイルス感染防止のための短期入所や日中一時の受け入れ制限の収入への影響を繰り返し説明した
	事業報告・予算書を回覧し、情報共有	事業報告書、予算書は回覧後、常時、閲覧できるようにした
予実管理の徹底	職員会議で利用状況及びそれに伴う収支の報告	定員割れや長期入院、新型コロナウイルス感染防止のための短期入所や日中一時の受け入れ制限の収入への影響を繰り返し説明した
	事業報告・予算書を回覧し、情報共有	事業報告書、予算書は回覧後、常時、閲覧できるようにした

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	防府市社会福祉事業団の倫理綱領及び大平園理念、また、それに基づき作成された大平園職員行動基準を遵守する	４月に読み合わせを行ない、遵守に努めた

	事業団及び大平園の理念の再認識	事業実施要項に記載し、4 月に確認した
	大平園行動基準の読み合わせ	4 月に読み合わせを行なった
労務管理の徹底	休憩取得実績の報告	毎月、休憩取得実績報告書を提出し、休憩時間の管理をした
	時間外勤務申請の事前提出とその報告	事前申請を行ない、緊急時については、口頭による申請を受けた
	定時退社できるような業務体制の維持	終礼時間を 16 時とし、残務整理時間を確保することにより、定時退社ができるよう努めた

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	避難訓練の実施(地震想定を含む)（1 回/月）	計画通りに実施した
	自治体と連動した実働避難訓練(土砂災害)の実施 6 月	伝達訓練を実施した
	防犯訓練の実施（1 回/年）	3 月に実施し、問題点を挙げて、対応を検討した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	愛光園、なかよし園との合同避難訓練の実施（1 回/年）	新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため、参加を中止した

※その他

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
事業継続計画の作成	事業継続計画(ＢＣＰ)の作成に向けた準備	7 月に事業継続計画作成のための研修に参加し、作成に取り組んだ

４　利用状況

利用者月別在籍状況　(入所支援・生活介護：男 20 人　女 20 人)(短期入所：男 20　女 20 人)

単位(人・日)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	1月	3月	計
初日在籍	男	15	15	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	191
	女	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	19	19	234
	計	34	34	35	37	36	36	36	36	36	36	35	35	426
施設入所	開所日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	利用延べ人数	1,002	1,073	1,074	1,135	1,116	1,080	1,071	1,037	1,078	1,085	942	1,023	12,716
生活介護	開所日	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
	利用延べ人数	734	802	786	841	828	792	790	758	798	805	668	758	9,360
短期入所延べ日数		30	56	62	45	22	14	16	14	6	14	14	14	307
日中一時支援延べ日数		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
生活介護	40	9,360	87.0	前年度比：103.6%
施設入所	40	12,716	87.1	前年度比：102.4%
短期入所	4	307	21.0	前年度比：149.0%
日中一時	―	1	―	―

6　実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備　　考
令和4年4月8日	昼食（花見弁当）	35	花見は3/30に実施
令和4年6月9日	園内ボウリング大会	34	園内で実施
令和4年7月7日	七夕	37	園内で実施
令和4年9月3日	第40回防府市総合社会福祉大会	―	作品展示のみ
令和4年9月9日	月見の会	36	園内で実施
令和4年11月11日	大平園まつり	37	園内で実施
令和4年12月23日	クリスマス会	36	園内で実施
令和5年1月6日	書初め	36	園内で実施
令和5年1月10日	どんど焼き	36	園内で実施
令和5年2月3日	節分	35	園内で実施
令和5年3月2日	日帰り旅行	35	サンルート徳山で昼食
令和5年3月3日	桃の節句	34	園内で実施
令和5年3月30日	花見	35	園内で実施

7　地域貢献活動、職員研修等について

【職員研修状況】

・知的障害者福祉協会（県知的障がい施設福祉振興大会役員、幹事会、医療保健部会、新人職員研修、虐待防止）・新型コロナウイルス感染症対策山口防府圏域WEB会議・高齢者施設等における感染制御と業務継続についての研修会（Web）・障害福祉施設基礎コース（新任職員研修）・防府市総合支援学校進路懇談会・福祉職員キャリアパス研修（管理者、中堅職員、新任職員）・職場のメンタルヘルスマネジメント研修・防火管理者講習会・BCP作成のための研修・防府市地域総合支援協議会（研修部会）

・障害者福祉施設等レクリエーション研修・給食担当者研修・中四国知的障害者関係職員研究協議会（Web）・リスクマネジメント研修（Web）・カウンセリング研修、ソーシャルワーク研修・サービス管理責任者基礎研修・相談支援従事者現任研修・全国社会福祉事業団大会（Web）・メンタルヘルス研修、実習指導者研修（Web）・虐待防止権利擁護研修・防府市医療介護多職種連携研修会（Web）

・ソーシャルワーク実習説明会（Web）・強度行動障害研修（Web）

・福祉サービス苦情解決責任者研修会

地域貢献活動については、新型コロナウイルスの影響により多くの行事等が中止となっており、また、感染予防のために活動を自粛しました。

施　設　名	防府市身体障害者福祉センター

主な実施事業	身体障害者福祉センター（Ｂ型）
	地域活動支援センター（機能強化事業Ⅱ型）

1　事業実施状況（総括）

在宅障害者が地域において日常生活又は社会生活を営むことができるように、機能訓練や教養講座・スポーツ訓練を実施して自立した生活や社会参加に向けて支援に努めました。コロナ禍にあっても感染者数が減少傾向にあり落ち着いてきたものの施設においては、感染防止のための新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って室内の消毒・入館時のマスクの着用と手消毒を行なった上で、「三密」を避けての機能訓練事業及び各種事業の提供を行ないました。

１.日常生活訓練では、利用者の障害の状態や症状に応じて、個別訓練計画に沿って機能訓練を実施するとともに、身体の維持向上や自助努力の達成につながるように努めました。

⑴機能訓練事業については、理学療法士及び作業療法士が利用者個々の身体症状や状況の現状を確認しながら、継続的に機能訓練を行なうことで身体機能の維持向上に努めました。新型コロナウイルス感染がまん延する中において、理学療法士が常勤でいつでも相談を受けることができるので機能訓練相談の利用が増加している状況です。

⑵言語訓練は、第３木曜日と第４火曜日の月２回の実施をしました。言語聴覚士による個別指導で、利用者の発音や発声等の訓練及び、字を書く、絵カードを指さし等によるコミュニケーションや言語能力の向上に努めました。

２.社会適応訓練や創作的活動及びスポーツ・レクリエーション等の各種事業は、定期的に実施して自立した生活や社会参加の促進に努めました。

３.行事やイベントは、新型コロナウイルス感染拡大予防対策による施設利用のガイドラインに沿って、介護技術講習会や介護予防教室及び点訳講習会を開催しました。コロナ禍にあって、飲食等を伴う「まりふ福祉まつり」は中止となりましたが、地域の方々への情報提供や地域住民の交流に努めました。

2　事業別実施状況

①　身体障害者福祉センター（Ｂ型事業）

実施内容	コロナ禍にあって、新型コロナウイルス感染予防対策を行なったうえで、在宅障害者が、地域の実情に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、必要な訓練、教養の向上及びスポーツ、レクリエーション等の事業を提供しました。機能訓練事業においては、理学療法士相談により利用者の個別訓練計画を作成して、障害の症状や状況に応じた機能訓練の支援を実施し、障害者の身体機能の維持・向上に努めました。 また、社会適応訓練・創作活動訓練・スポーツ訓練等の各種事業の支援提供を行ないました。

成果/評価	利用者に対して注意喚起を行なうことで、感染予防への意識が高めるとともに、利用者個々で感染予防を留意され施設利用をされたこともあり、センターの利用が増加傾向にあります。また、継続的に機能訓練支援を行なうことで、センター事業への利用の定着や利用増加につながっています。 日々の訓練事業においては、社会適応訓練・創作活動訓練・スポーツ訓練等にも継続的に参加・利用されることで、身体機能の維持や体力強化につながりました。

② 地域活動支援センター（Ⅱ型機能強化）

実施内容	在宅障害者が地域において日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作的活動や生産活動の機会の提供を行ない社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜供与できるように適切かつ効果的に各種事業のサービスの提供及び支援に努めました。また、障害者が自立した日常生活が送れるように、障害の症状や状況に応じた柔軟な対応を行ない、教養講座や創作的活動及びスポーツ・レクリエーションを通じて利用者の自立や生きがいの向上のための各種事業を実施しました。
成果/評価	感染予防の注意喚起を行なったうえで、各種事業のサービスの提供及び支援を行ないました。コロナ禍ではありますが、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように機能訓練や身体機能の低下を避けるための運動への意欲や意識づけをしました。また、障害者の自立した生活や社会参加の促進と、利用者に対して機能訓練や教養講座・スポーツ訓練等の各種事業を実施することで、身体の維持向上や利用者の生きがいとなるようにサービス提供を行ないました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告（内容・評価）
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	人権侵害に関する自己チェックの実施	自己点検シート（チェックリスト）を作成して、年２回実施し、職員間で共有するとともに、人権侵害や虐待防止についての周知・確認と情報共有を行なった
	虐待防止の自己チェックの実施	
	職員への虐待防止・権利擁護等の研修の実施	虐待防止マニュアルや職員倫理綱領について職員が周知すると共に、いろんな情報等を職員共有することで意識を高めて意思統一を図った
	虐待の早期発見、早期対応	
	外部研修の参加により虐待防止・権利擁護の意識づけ	
苦情・相談への適切な対応	苦情・要望等の相談受付箱を設置し対応	玄関の受付付近に苦情受付箱を設置し、定期的に受付箱を確認し対応した 直接訴えのある些細な事については、個人的に職員が対応した
	第三者委員への報告	

障害者差別解消法への対応	職場内での研修会の実施	コロナ禍にあって、外部研修棟への参加はしていないが、会議等の話し合いの中で共通認識をして対応した
	外部研修への積極的参加	
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	管理方法の確認と適正な行使	対応していない

② 支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	個々の障害の状態に応じた機能訓練の提供及びサービスの提供	個別の機能訓練計画に沿って訓練を行ない、身体機能の維持向上に努めた また安心・安全への配慮や、利用者個々の症状や状況に応じた柔軟な対応を行なうことで、自助努力の達成につながるような訓練やサービス提供を行ない支援した
	リスクマネジメントの実施	職員会議において事例検討を行なうことで職員相互での周知・確認をすることで意識の向上を図った
	ヒヤリハット事例研修の実施	
	感染症対策の強化	手すりやドアノブ及び訓練器具等の消毒を行なうと共に、利用者には手消毒と検温を実施した
支援技術の向上	外部研修への積極的参加	参加なし
	利用者や関係者を対象とした研修の企画	介護技術や介護予防教室等の講習会を通して職員も参加することでスキルアップを図った
提供サービスの点検	サービス評価の実施	訓練等支援計画の記録内容を評価し、次期の計画の内容に反映できるようにしている 言語訓練では、相談の記録確認し評価できた
	利用者満足度調査の実施(1回/年)	１２月～１月にかけて利用者満足度調査のアンケート調査を実施し、結果を踏まえ職員の意識向上に努めた
生活・支援環境の充実	利用しやすいように、訓練器具の配置や器具の点検	訓練室清掃時に、利用者の動線を考えて器具の配置検討を行なった（2回/年） また、ヘルストロン・マイクロサミーについては、定期点検を業者に点検委託、その他の訓練用具については日々自主点検を行なった
	定期的に環境整備を実施	建物周りの清掃は愛光園との委託により実施 センターにおいて３ヶ月に１回は敷地内の清掃や木々の剪定を行なった

創意工夫による業務の改善	訓練環境の整備	職員間で協議し、訓練室が明るく使いやすい配置、また安心安全に訓練ができる環境になるように利用者目線で整備を行なった
地域と利用者の交流促進	福祉啓発事業・講習会・まりふ福祉まつり等の開催	コロナ禍にあって、実施した講習会や教室は人数制限を行ない、地域住民に講習会や教室等への参加要請や自治会情報等を共有した また、地域住民との交流や地域行事への参加をすることで、社会福祉に対する理解の向上に努めた
	行事等への地域自治会の参画や地域自治会との連携	
	地域の自治会行事に参加協力	
セーフティネット機能の推進	他の関係機関等との連携	敷地内にある保健センターと行事や災害などで情報共有し連携に努めた
地域生活支援	他施設及び関係機関との連携協力	センター行事や催しなどを開催する際は、事業団内施設や障害福祉団体連合会や社会福祉協議会及び行政等と連携をして実施するようにしている
個人情報保護の徹底	個人情報管理の徹底と職員への周知徹底	会議の中で職員倫理綱領、職員行動基準等を職員間で確認・共有して周知を徹底に努めた

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	福祉啓発事業の実施や、子ども手話教室、障害者・お年寄りの交通安全教室、介護技術講習会、介護予防教室等の開催	介護技術講習会、介護予防教室、点訳講習会等は三密を避けて手消毒や検温及びマスク着用等の感染予防対策を行ない開催して、施設利用・提供に努めた 子ども手話教室、障害者・お年寄りの交通安全教室等の児童や高齢者が集まる行事等は新型コロナウィルス感染予防の観点から中止した
ライフステージに対応したサービス調整	障害者や介護者との連携	施設の利用状況や訓練状況についての情報提供や家庭で状況など情報収集に努めた
	他施設等の見学	事業所や個別での見学は受け入れた
	実習等の受入れ	６月から９月の間２４名の防府看護学院の実習を受け入れた
多様な福祉サービス事業の提供	施設機能を活用した事業の検討	コロナ禍で新たな事業や実施事業の充実はできなかったが、事業を行なう上で安心安全に努めた

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信と協力	福祉啓発事業・行事・イベント等の開催については市広報に掲載し情報	コロナ禍で開催予定の講座・教室等については、市広報・社協だよりや地域への配布チラシを通して、市民や地域住民に情報提供をした
	提供やチラシの配布	
	行事・イベント・月行事を地域の公民館への配布	センター内に月予定表やセンター情報を置き、利用者に講座やスポーツ訓練等の施設事業の啓発を行なった
参画・政策提言	各種行事への地域自治会の参画	コロナ禍で地域等との企画会議等は実施できなかったが、地域の行事や活動については連携に努めた
地域貢献活動の推進	地域自治会の活動への参加協力	

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	ネットワークの構築	新型コロナウイルス感染予防対策をしたうえで受け入れを行なった
職員の育成	内部研修での行動基準や倫理綱領の読み合わせ	会議の中で職員倫理綱領、職員行動基準を職員間で確認・共有し、周知徹底と職員の意思統一を図った
	マニュアルの再確認と周知徹底	
教育研修の充実	内部研修、外部研修への参加	参加なし

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇、夏季休暇取得の推進	年次有給休暇は業務に支障が出ないように留意して７日取得を目標にするとともに、夏季休暇は全部取得に努めた
自己啓発の促進	資格取得の奨励	啓発はしているが、実績なし
風通しのよい職場づくり	職員間の意思疎通や連携を密にする職員会議等での利用者状況の共有	利用者の症状・状況やセンター行事等を職員会議で内容検討し共有することで、職員間で意思疎通を図った
職員体制・連携強化への取り組み	職員間の情報共有	職員会議で内容検討し共有することで、職員間で意思疎通を図った

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	経費の削減	会議等で周知徹底をした
	利用者増への取組	利用者の他施設利用状況の調査を行ない、個々の利用者の施設利用状況を把握し、利用者に対して訓練やスポーツ訓練等への参加呼びかけを行ない行事予定表の作成による利用者への周知に努めるほかに、利用アンケート(どんなことに興味があるのか)を実施して講座・教室内容を検討して、利用増への取組みを進めた
	利用アンケートの実施	
経営意識の醸成	利用者状況の確認と情報の共有	職員会議で利用者情報を共有することで利用者の症状や状況及びサービス提供や支援の内容を確認した
	施設利用の状況の確認	
予実管理の徹底	予算執行状況の確認	事業を実施するにおいて、必要経費や物品等の購入等の概算を計上して予算確認をした

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	事業団の職員倫理綱領及びセンター職員の行動基準の厳守	職員倫理綱領及び職員行動基準を職員間で周知・確認して意識づけを行なった
	職員への周知徹底と意識づけ	
	コンプライアンスセルフチェックの実施	職員会議等でセルフチェックをし、職員間で共通認識をもって周知・確認を行なった
労務管理の徹底	職員への周知徹底と意識づけ	会議等で業務内容の状況を確認・共有して、職員間で事業の見直しをして検討を行なうと共に周知徹底に努めた
	業務の効率化、作業・事業の見直し	

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	避難訓練の実施(２回/年)	５月１９日と１２月１２日に避難訓練を近隣の保健センターと協力して実施した
	防犯訓練の実施(１回/年)	１２月５日に防府警察署員の指導により、さすまたの使用法や防犯実技訓練を近隣の保健センターと協力して実施した
	防災訓練(高潮想定)の実施	防災マニュアルを確認し、避難訓練実施後に高潮想定についての講話を行なった
災害協力・安全協力体制の推進と整備	隣接の保健センターや関係機関と連携による災害対応への体制整備	敷地内にある保健センターと災害などで連携し協力体制の構築に努めた また、事前連絡をとり連携して訓練を実施した

4　利用状況

令和4年度　身体障害者福祉センター利用状況

1. センター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
開館日数	24	23	26	25	25	22	25	24	24	23	23	26	290	24
地域活動利用者	152	155	199	177	185	163	159	183	165	155	177	191	2,061	172
センター利用者	118	110	136	129	127	98	113	97	108	88	97	104	1,325	110
利用人数	270	265	335	306	312	261	272	280	273	243	274	295	3,386	282

2. 機能回復訓練（毎週月曜日から金曜日実施）　※重複利用

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
機能訓練日	20	19	22	20	22	19	20	20	20	19	19	22	242	20
利　用　者	214	201	245	247	235	223	225	225	209	200	212	236	2,672	223
リ ハ ビ リ	124	121	163	159	164	166	161	153	134	133	150	159	1,787	149
ヘルストロン	11	7	8	3	18	22	19	20	20	21	19	19	187	16
マイクロサミー	141	123	169	135	106	113	125	142	125	118	140	145	1,582	132
ホットパック	81	57	78	53	49	37	52	58	58	55	76	58	712	59
血 圧 測 定	69	64	80	48	52	37	41	32	29	55	44	33	584	49

3. 機能訓練送迎（月曜日～金曜日実施※水曜運休）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
送迎日数	20	19	22	11	17	6	8	8	6	7	9	8	141	12
機能訓練送迎	31	19	32	12	18	6	10	10	6	10	10	8	172	14

4. 療法士相談（月～金曜日、第1・3火曜日,毎週木曜日は後実施）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
理学療法	179	172	208	202	148	159	144	159	150	146	165	181	2,013	168
作業療法	1	2	2	0	3	3	1	2	2	3	2	2	23	2
計	180	174	210	202	151	162	145	161	152	149	167	183	2036	170

5. 言語訓練（月2回、第2　火曜日、木曜日午後実施）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
訓練者延べ人数	8	8	10	9	7	8	8	7	8	8	8	11	100	8

6. スポーツ訓練（毎週1・2回　実施）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
ゲートボール	50	42	34	38	38	26	30	31	29	39	34	30	421	35
ボッチャ	21	15	31	19	20	15	17	19	16	14	21	18	226	19
軽 運 動	42	44	42	32	38	37	40	33	38	31	41	47	465	39
卓　球	12	12	12	7	8	4	10	9	10	12	11	8	115	10
合　　計	125	113	119	96	104	82	97	92	93	96	107	103	1,227	102

7. 講座・教室利用者（月1・2回実施）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
華　道	2	2	2	2	2	2	4	4	5	5	5	4	39	3
民　謡	8	6	7	4	3	2	4	4	4	4	3	4	53	4
カラオケ	7	5	10	7	8	0	6	6	6	4	7	4	70	6
手　芸	4	4	1	3	3	2	4	2	2	1	1	1	28	2
陶　芸	7	4	7	7	5	6	5	7	5	6	6	6	71	6
将棋・囲碁	2	1	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2	21	2
合　計	30	22	29	24	23	13	25	25	24	22	24	21	282	24

8. 貸室利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	月 平 均
軽運動兼会議室	11	9	11	9	7	16	13	11	7	6	8	5	113	9
研修室	10	9	11	11	4	6	9	11	7	8	4	14	104	9
その他の部屋	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0
貸室計	21	18	23	20	11	22	23	22	14	14	13	19	220	18
利用人数	160	134	183	137	88	170	131	139	101	95	116	156	1,610	134

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
身体障害者福祉センター	―	1,325	―	前年度比：109%
地域活動支援センター（機能強化事業Ⅱ型）	―	2,061	―	前年度比：114%

※その他

貸　室	―	1,610	―	前年度比：124%

6　実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備　　考
令和4年5月19日	介護予防教室(第１回)	6	
令和4年6月1日～7月13日	点訳講習会(第１回)	2	延べ14人
令和4年8月25日	介護予防教室(第２回)	5	
令和4年11月2日～12月21日	点訳講習会(第２回)	2	延べ9人
令和4年11月17日	介護予防教室(第３回)	7	
令和4年12月15日	介護技術講習会	7	
令和5年2月16日	介護予防教室(第４回)	5	

7　地域貢献活動、職員研修等について

松原地区の河川や溝の清掃作業が毎年実施されるために、地区より協力要請がありました。センターでは日曜日の作業は難しく参加できないために４月１３日にセンター職員等３名で建物南側のある河川の清掃作業に協力しました。

また、介護予防教室や介護技術講習会等を開催する際には、近隣の公民館やセンター近隣の地域住民の方々に開催案内を自治会に協力要請して各家庭に回覧して頂き、地域の障害者やご高齢者に対して参加協力やセンター利用の啓発等に努めました。

施　設　名	防府市障害者生活支援センター

主な実施事業	計画相談支援（指定）
	障害児相談支援（指定）
	相談支援（受託）一般・障害児
	地域相談支援（移行・定着）

1　事業実施状況(総括)

特定相談・障害児相談では、自宅訪問し、本人のニーズや障害を理解したうえで、サービス利用計画を作成し、定期的にモニタリングを実施しました。また、市、関係機関や事業所と連携しながら支援しました。

児童においては発達の相談や保護者の不安に寄り添い、療育機関や幼稚園・保育園・学校等と連携して支援に取り組み、就学から卒業後の進路相談等、子どもから大人に向けて幅広い支援に努めました。医療的ケア児の支援も病院や訪問看護、訪問入浴等と連絡を密にして連携しました。

一般相談では、本人・家族の支援、一般就労や在宅での生活相談、個別支援等を実施し、様々な支援サービスの向上に努めました。また、虐待ケース対応や困難ケースにも関係機関と連携して取り組みました。重度心身障害や精神障害の方で訪問看護を利用している方も増え、医療機関との連携やケア会議にも積極的に取り組みました。不安傾向が強く、電話連絡等の頻繁な利用者についても相手に寄り添うことで安心してもらえるように支援を継続しています。

2　事業別実施状況

①　計画相談支援事業

実施内容	自宅や事業所を訪問し、アセスメントをして計画作成やモニタリングの実施、本人・家族、事業所との連携に努めました。関係機関との調整や、担当者会議、見学同行、通院同行等の支援を実施しました。
成果/評価	精神障害や発達障害の方やその家族からの相談、生活困窮や就労についての相談件数が増えています。また、住居の確保や障害年金の相談、家計相談等内容が多岐にわたり、本人と家族の支援が増えています。 家族の高齢化や入院等で施設入所や短期入所、グループホームの利用希望の相談では市内の関係施設等と連携を図りできる限りの支援提供ができました。 日中活動では、希望の事業所を利用することで、利用者の生活リズムの安定を図ることができたケースがあった一方、思うように事業所に結びつかない利用者の方もおり、繰り返しご本人に寄り添って支援を継続しています。 台風災害の停電を予測し、重度心身障害児の避難入院や短期入所等の利用を調整することで安心して生活できる環境を整備することができました。

② 障害児相談支援事業

実施内容	自宅訪問を基本とし、アセスメントをして計画作成やモニタリングを実施しました。本人・家族に寄り添いながら、事業所、幼稚園、保育園、学校等との連携に努めました。保護者の障害受容や子育ての悩みへの支援に積極的に取り組みました。
成果/評価	児童発達支援や保育所等訪問支援が必要なケースでは保護者の方との話し合いにより通所計画を立案し、関係事業所への見学同行を行なうことで十分な連携が取れるように対応することができました。また、医療的ケア児に関しては、病院や訪問看護と連携し、ケア会議を重ね、家庭への生活に移行できるように支援することができました。また、本人が成長し、計画が必要でなくなった場合は、次のステップに向けて、保護者との相談を繰り返し必要に応じた支援に移行することができました。

③ 相談支援事業（受託）一般・障害児

実施内容	日々の生活相談や就労に関する相談等多様化する相談に対応して支援を実施しました。また、虐待等の困難ケース、医療的ケア児の支援ではケア会議への参加や退院支援を行ないました。障害児の就学支援等については、計画相談にはつながらないケースについて、積極的に支援を提供しました。
成果/評価	自己破産の相談では、弁護士事務所に同行し法テラスと連携した支援提供ができました。また、家計に関する相談や障害年金等の金銭管理など経済面の支援、住居等日常生活相談や就労に関する相談、虐待等の困難ケースの相談支援を数多く経験することで職員の資質向上につながりました。 障害児支援においては、利用者本人や家族への支援としてネグレクト、虐待の疑い等のケースが増えてきています。また、成長とともに支援が終了した後も、定期的相談に対応しました。また、生活保護や児童相談所、子育て支援等の関係機関と連携しながら利用者への相談支援に努めることができました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	人権侵害に関する自己チェックの実施	日々の支援業務での確認や、セルフチェックを実施した
	虐待防止の自己チェックの実施	日々の支援業務での確認や、セルフチェックを実施した
	虐待防止マニュアルの確認	日々の業務や会議等でマニュアルの確認した
	外部研修への職員の参加	強度行動障害実践研修、障害者虐待防止・権利擁護研修、防府市要保護児童対策地域協議会実務者研修会に参加した

苦情・相談への適切な対応	苦情の受付、苦情箱の設置等体制維持及び整備	身障センター入り口に設置 保護者からの直接相談もあり、関係機関や事業所等に連絡し、対応を確認した
障害者差別解消法への対応	職場研修の実施	会議等で適時実施した
	外部研修への職員の参加推進	関係書類等の配布等を行なった
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	管理方法の確認と適正な行使の徹底	金銭管理を必要とする利用者で、希望される方は社協と連携をして個別に説明し対応した

② 支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	リスクマネジメントの実施やヒヤリハットの検証	日々の生活支援や会議等にて検討や確認をした
	利用者個人情報管理の徹底	秘密保持や個人情報の管理に努め、ケース書棚の鍵の施錠を徹底した
	感染症の研修　訪問時の対応	訪問や面談時に手洗い消毒、マスク、咳エチケット、三密にならない環境設定に十分に気をつけた インフルエンザは流行らなかったが、新型コロナウイルス感染症対応で継続中
	適切な感染症対策を講じた支援の徹底	日々の体調管理に努め、体調不良時には早めに対応した
支援技術の向上	職場内研修の実施	日々の業務や会議等で定期的に実施した
	専門研修の実施	相談支援専門員（現任・主任）研修を受けた
	各種研修への職員参加	子ども発達部会の研修会に参加した
提供サービスの点検	サービス自己評価の実施	定期的に自己評価を行なった
生活・支援環境の充実	訪問時に利用者の生活状況の確認	訪問時の家庭の様子や、聞き取りで確認した
	感染予防に関する支援の推進	正しい感染症予防を伝える支援を行なった
創意工夫による業務の改善	業務改善等に対する職員提案の活用	提案しやすい環境づくりを心がけた
地域と利用者の交流促進	地域行事や関係機関実施行事への参加	事業団内の行事の参加し、体操や卓球、地活の利用者へのＰＲを行なった
セーフティネット機能の推進	困難ケースの適正な対応と支援	個別訪問や担当者会議への出席した
	行政や他相談支援事業所と連携した支援	市の要保護児童対策会議等への出席し、虐待、暴言、生活困窮、ネグレクト等、困難ケースへの対応した
地域生活支援	支援サービス利用計画に沿って、関係機関と連携しながら地域移行や生活の推進	病院のケア会議への参加、緊急時の対応や、家族が困難な場合、入院や退院の支援協力をした

	退院後の支援の充実	入院時から医療機関と連携した ケア会議等に参加し、家族や関係機関との連絡調整に努めた
個人情報保護の徹底	職員倫理及び、情報公開の徹底	マニュアルにより周知徹底した

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	地域の研修会等への職員派遣	派遣等はなかった
ライフステージに対応したサービス調整	支援提供者との連絡・関係機関との担当者会議等への積極的参加	事業所のモニタリングや日頃からの連携を行なった
	施設見学の実施	利用者個々の年齢や就学等の節目の前に実施した
多様な福祉サービス事業の提供	地域支援機能の構築	地域拠点整備の会議等へ出席した
	児童から成人に関わる相談支援の充実	障害に応じて個別にマッチングして対応し、機能の再検討が必要となった
	ピアカウンセリング機能の提供と検討	個別にマッチングにて対応した

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信	ホームページの有効活用	ホームページに掲載した
参画・政策提言	防府市総合支援協議会への参加	支援サービス調整会議・運営会議・子ども発達部会・研修会等に参加した

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
養成校、関係団体等との連携	関係機関や施設と連携して計画的実習を受け入れ	生活支援センターに該当者なし
職員の育成	個別人材育成に基づいた研修や勉強会の実施	子ども発達支援部会や研修への参加 相談支援専門員会議は Web で行なった
教育研修の充実	職員・関係者対象の研修の企画	事業団内の新任研修の受け入れを行なった
	理解度に応じた研修	経験の浅い職員への指導・助言した
	外部の専門的な研修への参加	現任・主任相談支援専門員研修に参加した

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇取得の推進	事前申請し利用者訪問予定等を確認して取得した
	効果的な夏季休暇の取得	取得時期が重ならないようにして、１００％取得した
	メンタルヘルスの推進	話しやすい職場環境づくりに努めた
自己啓発の促進	スキルアップのための資格取得推奨	資格取得者に奨励金交付があり、2名の職員が交付を受けた
	自己啓発研修参加への勤務配慮	希望があれば研修に参加できる
風通しのよい職場づくり	管理職員による計画的な面談	必要に応じ、面談を適時実施した
	感染症対策の強化	感染予防対策と体調管理に努めた

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	経費削減への取り組み	購入を考えるときは、話し合いで決めた
経営意識の醸成	会議での利用状況や収支報告の状況確認	1ヶ月の計画相談支援費の全体と担当別を報告し、話し合いをした

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	コンプライアンスのセルフチェック	会議等を利用して、意識向上の促進に努めた
	コンプライアンスの意識向上への取り組み	コンプライアンスセルフチェックの徹底を推進した
労務管理の徹底	柔軟な休憩の取得	時間外業務は事前に申請し、事務処理した
	業務手順での事務処理対応時間の明示	訪問時間等にあわせて、その前後で柔軟に取得した

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	身障センター内事業所との合同避難訓練の実施	身障センター内の事業所と合同で実施した
	身障センター内事業所との合同防犯訓練の実施	身障センター内の事業所と合同で実施した
	防犯に係る安全確保のための方策の検討	身障センター内の事業所と合同で実施した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	合同防災訓練の強化への協力	身障センター内の事業所と合同で実施した （大雨災害等による大平園利用者避難等）
	地域防災組織との連携	災害時に支援が必要な利用者の地域の社会資源を検討した
	防犯訓練への参加	身障センター内の事業所と合同で実施した

４　利用状況

①　障害別利用状況（延べ件数）

委託相談支援（障害者）

障害別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
身体障害	2	2	3	2	1	2	2	3	3	3	2	3	28
重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
知的障害	5	5	5	9	5	5	3	4	4	7	7	5	64
精神障害	8	10	10	11	8	9	11	10	10	10	11	7	115
発達障害	8	4	3	3	3	5	4	3	4	7	6	4	54
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	1	3	2	0	0	1	2	2	1	1	2	2	17
計	**24**	**24**	**23**	**25**	**17**	**22**	**22**	**23**	**23**	**29**	**29**	**21**	**282**

特定相談支援（障害者）

障害別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
身体障害	23	17	9	10	12	12	18	18	15	10	8	11	163
重症心身障害	2	4	3	3	4	2	2	4	3	4	4	5	40
知的障害	46	51	46	48	50	42	46	48	39	40	34	42	532
精神障害	17	18	21	16	16	26	20	19	21	16	20	24	234
発達障害	2	4	3	3	5	5	5	3	3	4	6	5	48
高次脳機能障害	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	5
その他	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
計	**90**	**95**	**82**	**81**	**88**	**88**	**92**	**94**	**82**	**76**	**73**	**88**	**1,029**

委託相談支援（障害児）

障害別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
身体障害	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
重症心身障害	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	6
知的障害	3	3	3	1	2	2	2	1	3	2	3	3	28
精神障害	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5
発達障害	1	1	1	2	0	1	0	3	1	0	0	1	11
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	5	6	5	9	8	4	6	9	6	3	8	74
計	**10**	**12**	**12**	**10**	**12**	**13**	**8**	**12**	**14**	**10**	**8**	**14**	**135**

特定相談支援（障害児）

障害別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
身体障害	5	3	4	5	5	4	5	3	3	4	4	3	48
重症心身障害	4	5	2	1	2	3	5	7	7	3	5	5	49
知的障害	9	10	12	10	13	6	10	13	12	11	9	10	125
精神障害	0	2	0	1	0	1	0	1	1	1	0	0	7
発達障害	24	20	20	20	19	18	19	19	22	20	21	22	244
高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	23	22	22	28	22	19	25	24	23	26	25	36	295
計	65	62	60	65	61	51	64	67	68	65	64	76	768

② 支援内容別利用状況(延べ件数)

支援内容	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
訪問	113	141	122	113	125	110	109	137	119	95	93	154	1,431
外来	56	60	66	53	49	51	48	66	54	68	80	77	728
同行	26	30	23	20	31	18	20	24	21	9	22	35	279
電話	246	191	211	211	197	209	186	177	151	138	195	190	2,302
メール	148	174	155	151	140	123	119	119	128	116	127	154	1654
ケア会議	38	14	12	8	12	18	19	10	12	18	14	16	191
連絡調整	291	314	306	309	246	246	257	280	248	225	247	293	3,262
合　計	918	924	895	865	800	775	758	813	733	669	778	919	9,847

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
計画相談支援	―	4,729 人	―	前年度比：102%
障害児相談支援	―	2,895 人	―	前年度比：130%
相談支援 (受託・一般)	―	1,705 人	―	前年度比： 89%
相談支援 (受託・障害児)	―	475 人	―	前年度比：187%

6　実施行事及び参加行事

行事等実施日	実施･参加行事等	参加人数（人）	備　　考
令和４年４月	相談支援専門員部会	1	ケース会議・職員会議
令和４年５月	サービス調整会議・運営会議 避難訓練	2 2	ケース会議・職員会議
令和４年６月	就労支援部会 サービス調整会議準備会 相談支援専門員部会	2 1 2	ケース会議・職員会議
令和４年７月	サービス調整会議・運営会議 研修部会 子ども発達支援部会コアメンバー会議	2 1 1	ケース会議・職員会議
令和４年８月	相談支援専門員部会	1	ケース会議・職員会議
令和４年９月	サービス調整会議・運営会議 子ども発達支援部会コアメンバー会議 子ども発達支援部会 総合支援学校進路相談会	2 1 1 5	ケース会議・職員会議
令和４年10月	子ども発達支援部会コアメンバー会議 相談支援専門員部会	1 1	ケース会議・職員会議
令和４年11月	サービス調整会議・運営会議	1	ケース会議・職員会議
令和４年12月	総合支援学校進路相談会 相談支援専門員部会	2 1	ケース会議・職員会議
令和５年１月	サービス調整会議・運営会議	2	ケース会議・職員会議
令和５年２月	山口・防府圏域関係連絡調整会議 総合支援学校　進路相談会 子ども発達支援部会　コアメンバー会議 相談支援専門員部会	1 2 1 1	ケース会議・職員会議
令和５年３月	サービス調整会議・運営会議 子ども発達支援部会　コアメンバー会議 就労支援部会	2 1 1	ケース会議・職員会議

7　地域貢献活動、職員研修等について

【職員研修状況】

令和４年８月９月	相談支援従事者主任研修
令和４年10月・11月・12月	相談支援従事者現任研修
令和４年11月	強度行動障害実践研修
令和４年11月	障害者虐待防止・権利擁護研修
令和４年11月	防府市要保護児童対策地域協議会実務者研修会
令和５年２月	子ども発達支援部会 web 研修
令和５年３月	NICU 等入院児支援事業研修会

施　設　名	防府市なかよし園

主な実施事業	児童発達支援
	保育所等訪問支援
	放課後等デイサービス

1　事業実施状況（総括）

1.　新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら事業の推進に努めましたが、10 月に職員数名が感染し事業に支障をきたすことがありましたが、職員協力体制のもと計画通りに行事を実施できました。

２．各関係機関とのネットワークは従来よりも強くなり利用児、学童の継続的な支援ができるようになってきました。

３．療育については新しい試み（クラス分け）を導入したため軌道に乗るまで、前期は新規利用児の受け入れに慎重且つ消極的となり利用率が低迷していました。後期は新規利用児の受け入れを積極的に行なった結果、契約数と利用率が増加傾向となりました。クラス分けを導入した結果、個々の利用児に発達の成果が見られました。

４．障害児地域支援体制強化事業については、新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら計画通りに実施できました。

５．職員の資質向上のため外部研修では特にオンライン研修を積極的に取り入れました。内部研修については担当者が計画的にテーマを提示して行なったので充実していたのと職員各々が専門性を高めようという意識が強くなっていきました。

６．契約児童の 3 割、18 名が卒園されました。就学相談は教育委員会と連携を図りながら丁寧に対応し保護者の希望通りの小学校に入学できました。

７．新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用予定児童数を確保できず予定していた収入よりも大幅に減少しました。

８．放課後等デイサービスについてはコロナ禍ではありましたが、昨年度よりも利用人数が大幅に増加したため収入も増加しています。

2　事業別実施状況

①　児童発達支援事業

実施内容	①関係機関との情報交換を行ないながら重度障害児童を優先して可能な限り受け入れを行ないました。 ②新型コロナウイルス感染の状況について常に新しい情報収集に努め早期対策を講じながら利用児個々の個別支援計画や特別支援計画に沿ってサービスを提供しました。 ③給食について栄養士が中心となり利用児の情報を収集し状況に応じて普通食を始めアレルギー食やミキサー食、刻み食等の提供を行ないました。月に 1 回摂食指導を行ないました。

実施内容	④障害児地域支援体制強化事業について感染予防対策を講じて計画通りに実施しました。 ⑤研修について特に外部研修はオンライン方式が多かったので積極的に参加しました。内部研修は具体的にテーマを設定したり事例検討等を取り入れたり外部から講師を招いて（山口県発達障害者コンサルテーション事業）行ないました。 ⑥待機児童の保護者に対してペアレントメンター相談会や講演会・親子体操教室・ミュージックセラピー等の情報の提供に努めました。 ⑦療育の体制をクラス別に変更し業務の合理化を図りました。
成果/評価	①胃ろうの医療的ケア児を受け入れて園内で処置を行なう事で対象児童が定期的に通園できるようになり、集団での活動ができるようになりました。また、座位移動から自力歩行ができるようになった事で保護者の負担軽減につながっています。 ②新型コロナウイルス感染症の情報収集を徹底したことで園内での感染予防ができたので、利用児にスムーズに療育の提供ができました。 ③利用児に安全で安心できる美味しい食事の提供ができました。食事についての悩みがある保護者が摂食指導に参加することで、専門家より助言を受けることにより食事への不安や悩み・問題が軽減又は解消できています。 ④強化事業の一つであるペアレントメンター相談会や講演会の実施会場を保健センターに変更した事で相談者は参加しやすくなりました。また、親子体操教室は回数を 3 回に増やしたことで大変好評でした。 ⑤オンライン研修は勤務先から直接参加できたので積極的に取り入れ複数人で受講できました。研修担当者職員が積極的に内部研修を実施したことで職員全員に専門性を高めようという意識が見られました。 ⑥待機児童に対して情報提供することで療育開始までのつながりを持つことができた事で、保護者の不安を軽減できました。 ⑦療育体制をクラス分けし利用児の発達段階に応じた療育支援を提供することで、個々の発達に効果が見られました。また支援者側にも業務の効率化・明確化を図ることができました。

② 保育所等訪問支援事業

実施内容	①25 名の契約がありました。待機児童に対して、当園以外に在籍しています。保育園や幼稚園・認定こども園等に訪問支援を行ない、児発に通園するまでのつながりをもち情報共有に努めました。 ②利用児が新たに保育園や幼稚園等に入園した際は保育所等訪問支援を行ないました。

成果/評価	①早期に保育園や幼稚園等に訪問支援をすることで情報提供を行ない個別の課題解決をするまでの経過がスムーズになりました。 ②新たに入園する保育園や幼稚園等や小学校に訪問することで受け入れに対する不安の軽減や解消につながっています。

③　放課後等デイサービス事業

実施内容	①防府総合支援学校の小学１年生から高校３年生までと牟礼地区小学校児童を受け入れています。個々のニーズに応じて日中一時の事業と組み合わせ継続した支援を提供しました。 ②長期休暇等について児童発達支援を卒園した学童・生徒の保護者の希望もありましたので受け入れをしました。 ③新型コロナウイルス感染状況について支援学校や他教育機関、他事業所等と常に新情報を共有することで新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。
成果/評価	①継続した支援を提供することで保護者に安心していただき当園に対して信頼を得ることができています。 ②長期休暇のみの受け入れを行なう事で長期休暇期間の利用者が増えています。 ③保護者を始め関係機関や支援学校・他教育機関・事業所等との連携を取ることで新型コロナウイルス感染拡大防止につながり事業継続が円滑スムーズにできました。

３　取り組み報告

①　人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	行動基準について読み合わせ（１回/週頭） 職員倫理綱領の読み合わせ（１回/月頭） 虐待防止の自己チェック（６月、９月、１２月、３月） 外部研修の参加、内部研修の実施により意識付け	職員行動基準の１項目ごと読み合わせを行ない現場での振り返りを行なう事で改善につながった 読み合わせを行なう事で意識づけにつながった 自己チェックを行ない施設長に提出することで自己の支援について振り返りをを行なう事ができた

人権尊重と虐待防止の意識の徹底	虐待防止マニュアルの項目について見直し検討 虐待の疑いのある利用児についてはマニュアルに沿った対応を行 うと共に関係機関との連携をとり情報共有に努める 虐待防止委員会の定期的会議の開催	外部の研修に参加し内部研修に積極的に取り入れる事で意識の徹底を図ることが出来つつある マニュアルについては継続して見直しを行なった 要保護児については関係機関と情報を共有しながら支援に努めた 虐待防止委員会は 10 月と 3 月に実施し保護者代表に現場の状況を報告した
苦情・相談への適切な対応	相談は月曜日～金曜日　９：００~１６：３０受付 苦情相談があった場合、早急且つ適切丁寧に対応	相談事や苦情の事案については丁寧に早急に対応しているが、1 月に発生した事案については保護者と相互の理解が得られなかったので第三者委員に解決を委ねる結果となった
障害者差別解消法への対応	外部研修や職場研修を行い職員全員の意識向上を図る 相談等があった場合は適切に対応	職場内研修で障害者差別解消法について行なう事で意識向上につながった 相談等は特になかった
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	契約児童・生徒が適切な療育を受けられるための権利を保守	契約児童や学童が適切に療育を受けているかを定期的にモニタリングし権利の保守に努めた

② 支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	リスクマネジメントの研修・日々の活動の中の振り返り（終礼） ヒヤリハット事例や事故報告事例による再確認と振り返り、今後の対応について（随時会議を開催）	リスクマネジメントの研修を行なうことはできていないが毎日終礼で活動の振り返りを行なった ヒヤリハットについて終礼時に報告をし随時検討会議を行なってきたので日々の業務の中で職員各々が意識を高めることができた
支援技術の向上	感染症対策や災害・防犯・支援等のマニュアル強化（マニュアルの確認） ＡＥＤ使用や救急法についての研修（看護師）	各マニュアルについては現状に即しているか確認しながら改善をしている 看護師により資料配布・内部研修に取り入れている

支援技術の向上	他事業所への実習や見学研修を実施 支援者養成研修（ペアレントトレーニングやティーチャーズトレーニング）への参加や講演などの積極的参加し、また、オンラインを利用した研修を取り入れる	コロナ禍で他事業所への見学実習は実施できなかった 支援者養成研修を始め各種研修や講演会には園全体で積極的に参加できた また、オンライン研修については集合研修と違い新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低いため多く取り入れることができた 支援技術の向上を図るため、まっぷのコンサル事業を活用した
提供サービスの点検	保護者アンケート（１回/年） 食事調査の実施（１回/年）	児童発達支援・放課後等デイサービス共に 11 月 21 日～12 月 21 日に実施 2 月に結果報告を行ないサービスの改善に努めた 11 月に食事調査を行なった
創意工夫による業務の改善	児童発達支援・放課後等デイサービスの職員が不足の時はお互い助け合い業務をスムーズに遂行できるよう努める	児童発達支援・放課後等デイサービス共に職員が不足の場合はお互いに協力体制を組んだため業務に支障をきたすことはなかった
地域と利用者の交流促進	まりふ福祉まつりへの参加 近隣の施設との交流 養護老人ホーム（やはず苑）慰問	まりふ福祉まつり・近隣施設との交流・養護老人ホーム（やはず苑）慰問は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 やはず苑には児童の手作り作品をプレゼントし大変喜ばれた
セーフティネット機能の推進	児童発達支援センターとして支援学校、保育園、幼稚園、相談支援事業所、障害福祉課、保健センター等 の関係諸機関との連携を図り情報の収集と共有に努める 総合支援協議会への参加と子ども発達支援部会の推進	各関係機関との連携をとり情報共有に努めたことで利用者への支援がスムーズにできた 子ども発達支援部会は副会長の役割があったので会の発展と推進に努めた
地域生活支援	必要に応じて家庭訪問等を行い、支援を行う	必要があれば家庭訪問を行ない支援するように努めたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施できていない

個人情報保護の徹底	書類の管理を徹底（定期的チェック） 個人情報についてはメールやファックス等を利用せず会議や書面を郵送する等の方法で行う 事務所内で他施設や関係者との情報交換をする場合は、固定電話を利用	定期的にチェックを行ない、書類の持ち出しを禁止しているので情報の漏洩等は見られない 個人情報についてはメール・Fax は利用禁止し、書面での郵送や会議等の方法を利用した 他施設との情報交換には携帯電話は禁止し、固定電話を利用することで誤操作による情報漏洩を防ぐことができた

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	ミュージックセラピー（第２土曜日　身障センター） 体操教室（年 3 回とし 9 月 10 月 11 月に実施）	感染対策を講じながら 12 ヶ月間実施できたことは良かった 定員が 10 組だったが参加希望者の問い合わせが多かった 体操教室は 5 月、7 月、11 月に実施したが大変好評であった
ライフステージに対応したサービス調整	地域からの団体訪問者に関しては広く受け入れ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため小グループの見学に対応した 小学校の教諭や幼稚園・保育園の職員・サービス事業所の職員等の見学を受け入れることで当施設への理解を深める機会となっている
多様な福祉サービス事業の提供	放課後等デイサービス事業（防府総合支援学校小学部から高等部や牟礼地域の小学校支援学級等の利用拡大を推進） 保育所等訪問支援事業（コロナ禍での訪問が危惧される中、保育所等との連携をとりながら、感染予防に努め訪問実績を上げる） 総合相談の積極的な受け入れ	放課後等デイサービスでは牟礼地区の小学校支援級や総合支援学校の小学 1 年生から高等部 3 年生までの利用があった 保育所等訪問支援事業は訪問先と連携をとりながら可能な限り訪問支援を行ない昨年度よりも訪問件数が増えている 電話等での相談事案が多かったが積極的に丁寧に対応した

④ 地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信	園だよりの発行（12 回/年） ホームページで随時、新情報を更新 市広報への掲載（ミュージックセラピーについて年度末３月号に掲載） 春季・夏季セミナーの共催（やまぐち発達臨床支援センター）や講演、研修等の案内（パンフレット・ポスター等の配布） 地域清掃活動や文化祭等への参加	毎月園だよりを、2 ケ月ごとに保健だよりを発行し園での行事や活動等について保護者に報告や情報提供をした ホームページで随時新情報を発信しているので相談事等の問い合わせも増えた ミュージックセラピーや親子体操教室の参加者募集を市広報に記載した事で利用参加の問い合わせが増えた 山口発達臨床支援センターの春季・夏季セミナーの協力機関として講演や研修の案内（パンフレット・ポスター等の配布や掲示）等の広報活動を行うと共に職員も積極的に受講し業務に生かすことができた 地域清掃活動や文化祭への参加はコロナ禍のため中止した
参画・政策提言	障害児地域支援強化事業 （ペアレントメンター相談会：年４回以上、リソースブック作成、支援者研修：（１回/年） 親子体操教室：（1 回以上/年） 地域総合支援協議会への積極的参加 幼保・小連携教育研修会への参加 保育園や幼稚園等関係機関への事業説明（必要に応じて）	強化事業については新型コロナウイルス感染拡大予防対策を行ない、ほぼ計画通り実施できた 相談会は 5 回、リソースブック作成 1 回、支援者研修 1 回、親子体操教室 3 回実施した 地域総合支援協議会の子ども発達支援部会コア会議や連絡会議等には積極的に参加し情報交換ができた 幼保小連携教育研修会には児童発達支援管理責任者を担当者にして積極的に参加することで連携を深め支援等に活かせることができた 当施設との併用児童が在籍し、将来入園予定とされる保育園・幼稚園・認定こども園等には必要に応じて保育所等訪問支援事業等について説明している　その結果、当施設についての役割と必要性を理解していただいた
地域貢献活動の推進	養護老人ホームへの慰問（高齢者との交流） 地域の清掃活動や文化祭などへの参加 地域の子どもや子育て世代に対して支援できることを企画	コロナ禍で慰問することができなかったが、利用児の手作りの作品をプレゼントすることができ大変喜ばれた 地域の清掃活動や文化祭はコロナ禍で中止 ペアレントメンター相談会等で子育て中の保護者の相談支援を行なった 　コロナ禍もあり子育て世代への支援活動を企画することができなかった

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人材育成のための関係機関との連携	実習生の受け入れ（高校、短大、専門学校、社会人等）	県立大学の学生１名５日間介護体験実習を受け入れることで実習生の目的達成の手助けになった
職員の育成	研修会、勉強会の実施 内部研修での行動基準や倫理綱領の読み合わせ 法人内研修の参加 積極的な外部研修の参加（オンライン研修を含む） 研修の復命（終礼や会議）	内部研修を毎月実施し情報共有と知識向上に努めた 行動基準や職員倫理綱領の読み合わせは定期的に実施し意識向上につながっている 法人内研修はコロナ禍のため実施されなかった 外部のオンライン研修は従来よりも多く参加できて充実していた 特に市外や県外での研修に職場から参加でき終了後は直ぐに日常業務に戻れるので大変好評だった 研修受講後は必ず復命を書類で供覧し、職員間の情報共有や知識向上につながった
教育研修の充実	積極的な外部研修の参加（オンライン研修を含む） マニュアルの再確認と周知徹底	コロナ禍の事もありオンライン研修には積極的に参加でき充実できた 内部研修については研修担当者を決めたことで年間通じて充実した研修ができた 実習生受け入れについてもマニュアルに沿って適切に受け入れができた

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	振替休日の適正な取得（1 か月以内の取得を周知） 年次有給休暇取得推進 夏期休暇 100％取得 メンタルヘルスの推進（相談しやすい職場づくり）	振替休日を１ケ月以内に取得するのは困難な職員もいたが、取得することができた 声をかけて年休の取得を促し、職員の年休取得ができた 夏季休暇 100%取得できた 職員全員がお互いでコミュニケーションを取り合い業務の事やプライベートの事など相談し合う環境ができている
自己啓発の促進	職員が希望する研修参加のための勤務配慮	勤務への配慮を行なう事で各職員が希望する研修に参加でき、学習意欲が向上しつつある

風通しのよい職場づくり	上司の定期的なヒヤリングや職場内アンケートを実施し職員の考えや意見を把握し課題解決に努める 会議等で定期的な話し合いの場をつくる 懇親会等を設定し何でも話せる関係性をつくる	令和５年１月に正規・非正規職員全員にヒヤリングを実施したのみで定期的なヒヤリングやアンケート調査は実施していない 不定期でも、職員の意見や考えを聞く機会を設ける必要がある 定例会議や臨時会議を開いて職員全員が発言する機会を設けているため、比較的積極的に意見交換ができている 懇親会は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため設定することができなかった
職員体制・連携強化への取り組み	児童発達支援又は放課後等デイサービスの職員が不足した場合、協力体制で業務を遂行 事態に備えて緊急連絡網の徹底とマニュアル作成や計画立案	職員が新型コロナウイルスに感染し複数人勤務停止になった時、児童発達支援と放課後等デイサービス職員と支援センター職員の協力で行事遂行ができた 緊急連絡網はできているがマニュアルについて早急に確立し職員全員に周知徹底する必要がある

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	相談事業所やその他関係機関等との連携を図る 安定したサービスの提供を行い各種加算などの報酬取得に努める 合理的な業務の遂行（無駄を省く等）	利用状況について情報提供し可能な限り利用契約ができるように進めている 各種加算等の申請を行ない安定したサービスが提供できるものを選択し収入増に努めた 児童発達支援と放課後等デイサービスの職員が相互に協力し合うことで業務を合理的に遂行できた（給食の運搬や自由遊びの見守りの補助を放課後等デイサービス職員が協力する）
経営意識の醸成	職員会議等で収支報告を行い、職員個々の経営意識を高める 毎月の実績報告書を回覧し、視覚的に職員の意識付けをする	収支報告は各自がいつでも閲覧できるようにした 職員も経営について意識を高めることができた 毎月の実績報告を回覧することで利用率を上げようという意欲向上につながった
予実管理の徹底	定期的に予算と実績を見直し差異やズレが生じた時は課題を明確にして対応する	定期的な見直しが不十分だった為、予算と実績の差異が生じているため、経理との連携を図り早めの対応が必要である

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	コンプライアンスについて意識付けのため倫理綱領や行動基準の読み合わせ 階層別研修等への積極的参加 組織としての1員であることの意識向上を図る	毎月、月初めに読み合わせを行なっている事でコンプライアンスの意識付や一組織人であるという自覚につながった 新任者研修等に参加することで組織での自分の役割などを自覚できた
労務管理の徹底	ノー残業と掲示し、時間外勤務の削減意識を高める 休憩時間の完全取得の徹底 休日出勤や時間外勤務について事前申請を徹底する	月予定表にノー残業デイと明示することで時間外勤務削減の意識向上につながった 交代制で休憩を取っているが記録や電話対応等の業務が多く十分とは言えない 事前申請を徹底することで実施できた

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	避難訓練実施（１回/月） 合同防災訓練（１回/年）、防犯訓練（２回/年）、土砂災害訓練の実施（２回/年） 災害時を想定した引き渡し訓練を実施 防災・防犯マニュアルの確認と整備	毎月実施することで、避難がスムーズにできた 愛光園との合同防災訓練は 11 月に一部の利用児と職員が参加した 防犯訓練・土砂災害訓練は計画通り実施した また、市の土砂災害情報伝達訓練に参加したことで地域連携の意識づけとなった 保護者への引き渡し訓練を６月に実施したことで保護者への協力理解を深めることができた 防災・防犯マニュアルの再確認を行ない必要に応じて変更した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	愛光園、大平園と連携し災害時の対応マニュアルを確認・整備し、常に情報交換を行い、災害に備え瞬時に対応できるようにする	積雪時には愛光園との連携をとり送迎等について検討し利用児の受け入れを行なった 改めてマニュアル等の見直しをすることができた

4　利用状況

（単位　人・日・件）

事　業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍	児童発達支援	37	38	41	44	44	48	50	51	52	53	53	54	565
	保育所等訪問支援	11	13	14	14	17	21	22	23	24	24	25	25	233
	放課後等デイサービス	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
	計	67	68	71	74	74	78	80	81	82	83	83	84	925
開所日数		20	19	22	20	21	19	19	20	20	19	19	22	240
利用延べ人数	児童発達支援	313	273	320	302	310	337	330	360	357	320	329	403	3,954
	保育所等訪問支援	2	5	3	3	1	10	1	9	7	16	7	7	71
	放課後等デイサービス	161	146	190	165	159	155	160	141	163	132	147	176	1,895
	計	476	424	513	470	470	502	491	510	527	468	483	586	5,920
	日中一時支援	49	2	0	19	1	14	0	0	18	14	0	15	132

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
児童発達支援	20	3,954	82.3	前年度比：96.8%
保育所等訪問支援	—	71	—	前年度比：240%
放課後等デイサービス	10	1,895	78.9	前年度比：111.9%
日中一時支援	—	132	—	前年度比：111.9%

6　実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備　　考
令和4年4月22日 令和4年5月19日	保護者会総会（児童発達支援） 保護者懇談会（放課後等デイサービス）	7 8	
令和4年6月2日	健康診断（内科・歯科）	12・14	園内で受診
令和4年9月	敬老会（慰問）	中止	子供たちの手作り作品をプレゼント
令和4年9月26日～10月4日	参観日週間	利用児：36 保護者：31	運動療法の様子を保護者に見て頂く

令和４年10月17日	親子遠足	児　　：24 保護者：40 職員他：　7	きらら博記念公園でのインクルーシブパークを利用
令和４年11月10日	健康診断（内科・歯科）	26・28	園内で受診
令和４年12月19日～23日	クリスマス週間	期間内の利用児と職員	クリスマスの雰囲気を演出
令和５年年１月13日	どんど焼き	20	
令和５年２月３日	節分・豆まき	19	
令和５年３月10日	１年生おめでとう会	卒園児：15 保護者：17	卒園児と保護者等 職員（12名）
随時	研修センター主催の研修に参加		
随時	福祉協会主催の研修に参加		
令和５年12月	支援者研修	71	当施設主催の研修

７　地域貢献活動、職員研修等について

・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、地域貢献活動は自粛や縮小などもあり実施できませんでした。
・職員研修については外部研修での集合研修について１部のみ参加し、他の外部研修は、Web 研修だったので積極的に参加することができました。また、支援者研修については発達障害児地域支援体制強化事業が県から市に移行し当園が委託を受けている事業の一つでありますが、Web 研修の方法を取り入れたことで 71 名と多くの参加者を得られました。今後も多く支援者に研修を受けて頂けるように Web を活用していきたいです。

【職員研修状況】

・自閉症の特性理解と地域支援の在り方を考える（Web）(5/10)・障害者（児）福祉施設基礎コース（新任職員研修）（5/18）・山口県知的障害者福祉協会医療保険部会（Web）(5/20)
・児童福祉施設基礎研修（新任研修）(5/26)・乳児保育専門研修（Web）・相談支援従事者初任者研修（Web）・給食担当職員研修(7/14・8/19)・福祉・保健・教育関係職員研修(7/18)
・第１回発達支援者向けセミナー（Web）(7/23)・防府市幼稚園、保育園、小、中学校校内コーディネーター研修会(7/27)・山口・防府地域　特別支援教育センター公開講座（Web）(7/29)・相談支援従事者初任者研修(7/26・/7/27・8/25・9/27・9/28)
・研修部会オンライン研修（8/2）・福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員研修）（8/3・8/4)
・障害者虐待防止徹底研修（8/18）・子ども発達支援部会研修（9/16）（R5/2/24)
・児童発達管理責任者研修（Web：9/23・9/26）・児童発達管理責任者研修（基礎研修）10/5・10/6)
・中国地区児童発達支援部会通所支援分科会施設長会議（Web）（10/28）・福祉・保育・教育関係職員研修会（10/30）・児童福祉施設基礎コース（新任職員研修）フォローアップ研修（11/７）
・強度行動支援者実践研修（11/24・11/25）・児童発達支援部会研修（Web）（11/16)
・メンタルヘルス研修（Web）（11/15）・幼保小連携教育研修（11/26)
・支援者研修（12/10）・強度行動障害研修（Web）（12/13）・マネジメント研修（Web）（12/20)
・スクラム萩主催研修（Web）（R5/2/4）・難聴児支援従事者専門性向上研修（R5/2/9)
・苦情解決責任者研修会(R5/2/14)・障害児者支援研修(R5/2/17)・安全管理マニュアル研修(R5/2/22)
・福祉・保健・教育等関係職員研修（R5/2/23）・春季セミナー（R5/2/19)
・インクルーシブパーク報告会（R5/2/27)

施　設　名	防府市わかくさ園

主な実施事業	生活介護
	日中一時支援

1　事業実施状況（総括）

利用者の小さな変化に気づくことを職員一丸となって日々のふれあいを通して新たな側面に気づく事ができました。職員の感性が鈍らないように、利用者がいつもと変わらないという思い込みを捨てて個性・特性・強みなどを気づく力を職員同士で共有し個々の状況に応じて、相互理解を深めことで寄り添える支援が可能となりました。問題意識をもって取り組む姿勢を常に考えて支援をすすめることで、本人の気持ちに沿った支援を行なえたことで生き甲斐のある、みんなが集える場所となっています。

健康面においては、運動訓練の中でも理学療法士や看護師とその日の体調を見ながら相談することで工夫をしながら飽きない内容で、本人に無理のない機能回復訓練に努めることができ、健康を大切にした支援に努めました。また日常生活においても対話をより多くすることで有意義に園生活が送れ、本人が安心した気持ちで、ゆとりのある環境づくりができました。そして、保護者と日々の連絡帳のやり取りを行なうことで利用者の状況が細かく知ることができ、保護者と共有し変化にいち早く対応することで安心・安全を提供することができました。

2　事業別実施状況

① 生活介護事業

実施内容	利用者の意思及び人格を尊重し、個々の利用者の立場に立って支援を行ないました。利用者が普段と変わらない日常生活ができるように円滑な訓練や活動を通じて、生き甲斐を提供できる支援を行いました。
成果/評価	利用者の一人一人の状況に応じて、やる気を引き出せるようにコミュニケーションを深め本人の気持ちに沿った支援を行なったことで生き甲斐のあるみんなが集える場所となりました。 健康面においては、ＰＴや看護師とその日の体調を見ながら相談し、工夫をすることで飽きない内容にし、本人に無理のないような機能回復訓練を行なうことができました。また、日常生活においても一人一人と対話を多くし有意義に園生活を送れるような機会を提供することで本人が安心でき気持ちにゆとりが見られるようになり良い環境づくりができました。また連絡帳を使って本人の状況を細かく伝えることにより保護者との間で意思疎通を深め、利用者の変化にいち早く対応することで「安心」・「安全」を提供することができました。

② 日中一時支援事業

実施内容	セーフティネット機能として、保護者が支援学校の受け入れ時間帯よりも早く仕事に行かなければいけない場合に、支援学校在学の生徒及び児童を園で見守り、学校まで送り届けました。
成果/評価	支援学校の送迎バスの中で暴れたり運転手につかみかかったりと安全上バス利用が困難な方を当園が単独で送り届けることができ、本人も安定され全く問題なく利用できています。このようにセーフティネットの充実により保護者や本人に安心感が持てる場としての機能を果たすことができました。

3 取り組み報告

① 人権擁護の徹底

項　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	人権侵害及び虐待防止の自己チェックの実施	気づきや、疑問に思ったことをその都度、改善できるように職員間で話し合い、共有し、意識の向上を図ることで、利用者が過ごしやすい環境を作ることができた
苦情･相談への適切な対応	苦情、要望、意見、相談受付箱を設置し対応	毎日の連絡帳を活用することで、保護者からの疑問や利用者の行動を共有することができ、安心・安全を提供できるように保護者とのキャッチボールをその都度行なうことで対応できた
障害者差別解消法への対応	職場研修の実施	会議の中でリーフレットを使って話し合いをし、周知徹底を行なった
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	誕生会の徴収金の管理（毎月）	昼食チケット代や誕生会の徴収を可視化するために集金袋を作成して保護者と確認を行なった

② 支援・サービスの向上

項　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心･安全な支援の提供	ヒヤリハット事例の確認及び改善 感染症への対応	ヒヤリハットで気づきがあれば、些細なことでも職員間で共有し話し合い改善をし、安全・安心に努めた また新型コロナウイルス感染症予防の為にその都度、手指消毒やマスク装着の徹底に努めた
支援技術の向上	外部研修の参加や支援会議にて検討	地域総合支援協議会研修部会に Web にて参加した また支援会議においても随時、職員間で共有を行なった

提供サービスの点検	サービスの評価（支援会議にて）検討	会議にて支援状況を振り返り、見落としがないか話し合い、より一層のサービスの向上を行なった
生活･支援環境の充実	清拭用ウエットタオル、手指消毒による衛生管理	食事前とレクリエーション時の手指消毒の徹底をすることで利用者の新型コロナウイルス感染予防の対策に努めた
創意工夫による業務の改善	訓練及び作業の効率アップへの改善	職員の気づきを理学療法士や看護師などに専門的な意見を基に利用者の特性に合った内容に改善し対応した
地域と利用者の交流促進	園行事等への参加協力	新型コロナウイルス感染症予防により中止した
セーフティネット機能の推進	相談支援事業所及び関係施設並びに関係機関への情報収集・協力	日中一時支援において、セーフティネット機能を有効に活用して保護者の様々な負担軽減の解消に努めた
地域生活支援	関係施設及び関係機関との連携協力	随時、情報共有を図り相談やアドバイスを受けた
個人情報保護の徹底	個人情報の管理の徹底と職員への周知徹底（職員会議にて）	職員会議の際に、周知徹底を行なった

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	社会貢献活動の実施（地域環境清掃）	コロナ禍のため実施を控えた
ライフステージに対応したサービス調整	防府総合支援学校生の積極的な実習の受け入れ	実習前には、担当教員を通じて、本人・家族の意向を十分に確認し実習しやすい環境に努めることでより充実した実習体験を行なうことができた
多様な福祉サービス事業の提供	防府総合支援学校の実習受け入れの促進	支援学校の進路説明会にて、園の概要を説明することで園の良さをアピールし支援学校と連携して積極的に実習の受け入れに努めた

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信	ホームページの掲載の充実	ホームページによる情報発信を行なった
参画・政策提言	防府市総合支援協議会等の研修会への参加	リモートでの参加をした

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
養成校､関係団体等との連携	関係機関との連携した積極的な実習の受け入れ	関係機関と連携し、積極的な実習の受け入れを行なった
職員の育成	テーマ別勉強会の実施や研修復命の報告（職員会議にて）	検討を重ねることにより職員間の相互理解を深めることができた
教育研修の充実	外部研修への参加	令和４年度山口県障害者虐待防止・権利擁護(R4.10 月)オンライン 防府市地域総合支援協議会研修部会(R4.7 月、8 月)

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇取得の推進及び夏季休暇取得率 100%の実施	夏季休暇取得については、取得率 100%を達成年休についても調整を図り、概ね職員の意向に沿った年休取得ができた
自己啓発の促進	自己啓発研修の情報提供	会議において、必要な情報提供ができた
風通しのよい職場づくり	情報共有推進環境の場を提供し意見交換の実施	何でも話せる環境を保てるように、会話の中に言いやすい雰囲気を作り意見交換の場を設けることができた

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	経費節減の取り組みの実施(ｴｺｾｲﾋﾞﾝｸﾞ、公用車の共同使用等)	公用車の共同利用、こまめな節水・節電・備品は可能な限り修繕・補修をして使用できるよう工夫を行なった
経営意識の醸成	利用状況、定期的な収支報告の周知(職員会議にて)	利用状況については、会議の中で増減等を周知し利用率アップに努めた

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	コンプライアンスについて周知徹底(職員会議にて)	会議の中で周知徹底をすることで理解を得ることができた
労務管理の徹底	働き方改革実践の徹底(職員会議にて)	業務内容を確認し、その都度見直して職員の負担軽減をすることで定時での勤務終了に努めた

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	避難(年/2 回)、防犯(年/1 回)、防災(高潮避難)訓練の実施	火災発生場所を正確に利用者に伝えることで慌てず落ち着いた避難誘導ができた 防犯訓練では、警察の指導の下で実践することで職員間の意識づけができた 高潮訓練について定期的に実施することができた
災害協力・安全協力体制の推進と整備	合同防災訓練の実施(年/1 回) ※身障センター内事業所合同	身障センター内の各施設が協力して合同で行なうことできた

４　利用状況

（単位　人）

事　業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍	生活介護	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
	日中一時	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
	計	20	20	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	236
開所日数(日)		20	19	22	20	21	18	20	20	20	19	19	22	240
利用延べ人数	生活介護	291	240	280	260	259	226	256	257	248	227	229	282	3,055
	日中一時	29	34	42	24	0	34	32	12	16	22	17	15	277
	計	320	274	322	284	259	260	288	269	264	249	246	297	3,332

５　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
生活介護	20	3,055	63.6	前年度比：92.9%
日中一時	―	277	―	前年度比：78.9%

６　実施行事及び参加行事

実施日	実施・参加行事	参加人数(人)	備　　考
令和４年１２月２２日	クリスマス会	14	園内実施
令和５年２月３日	節分	12	園内実施

７　地域貢献活動、職員研修等について

実績はありません

施　設　名	ホームヘルパーセンター

主な実施事業	指定居宅サービス（訪問介護）
	予防給付型サービス （訪問介護相当サービス）
	指定居宅介護支援 （居宅介護支援・介護予防支援）
	指定居宅サービス （居宅介護・同行援護・特定相談支援・障害児相談支援）

1　事業実施状況（総括）

新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じて、介護支援専門員、相談支援専門員の訪問を電話対応としましたが、感染が減少傾向にある時は、出来る限りの感染防止対策を行ない訪問しました。訪問介護については、利用者が感染した場合も職員を限定し防護服着用にて、生命の維持に必要なサービスを行ないました。

2　事業別実施状況

①　訪問介護事業（ホームヘルプサービス：高齢者・障害者）

実施内容	在宅での生活が可能な限り自立的に継続できるよう利用者・家族のニーズに応じたサービスを効率的に提供すると共に、利用者の個々の状況をしっかり把握し利用者の人権に配慮した援助となるよう努めました。
成果/評価	事業計画に沿い訪問介護事業を実施しました。新規依頼の際、時間調整を行ない出来る限り受諾しましたが、休日勤務が可能な登録職員が減ってきたため、休日希望のケースを受けることが難しくなってきました。制度外のサービスは個人契約にて対応しました。

②　居宅介護支援事業（高齢者ケアマネジメント）

実施内容	介護支援専門員の作成する居宅サービス計画が利用者の人権を尊重し、福祉ニーズを反映した有効な計画となるようにしました。利用者や利用者家族との連携に留意し、信頼関係の構築に留意し、利用者や家族が安心できるサービス計画となるよう努めました。
成果/評価	事業計画に沿い居宅介護支援事業を実施しました。新規依頼はすべて受諾しましたが、介護認定が昨年度よりさらに厳しくなっており、要介護が出ない利用者が目立ちました。

③　指定居宅サービス事業（相談支援・障害児相談支援）

実施内容	相談支援専門員の作成する居宅サービス計画が利用者の人権を尊重し、利用者の自律的生活を援助でき、児童においては保護者のニーズに十分寄り添えるよう取り組みました。また、利用者や利用者家族または保護者との連携に留意し、それぞれが安心できるサービスとなるように努めました。
成果/評価	事業計画に沿い相談支援事業を実施しました。新規依頼は出来る限り受諾しまし、介護保険に移行してもそのまま担当できるというメリットでの依頼も複数件あり、すべて受諾しました。

3　取り組み報告

①　人権擁護の徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
人権尊重と虐待防止の意識の徹底	職員セルフチェックの提出	全職員（登録含む）4 月実施した
	自己評価	全職員（登録含む）7 月、1 月実施した
	虐待防止委員会の開催	常勤職員 10 月実施、登録職員は資料配布した
苦情・相談への適切な対応	ご意見箱の設置	意見箱は設置しているが利用なし
	苦情解決制度のご案内	事務所内に掲示した
	苦情等あればマニュアルに沿って対応	該当なし
障害者差別解消法への対応	リーフレットの掲示	事務所内にリーフレットを掲示した
	外部研修の職員派遣	1 名出席した
利用者の財産の適正な管理と権利の行使	財産管理が必要な場合は後見人等の選定をする	利用者 1 名該当、後見人の選定をした

②　支援・サービスの向上

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
安心・安全な支援の提供	職業性ストレス簡易調査票（57 項目）でのストレスチェック	全職員（登録含む）6 月実施
	腰痛対策、4S 活動、KY 活動等の研修により労働災害の防止	全職員（登録含む）資料配布を行なった
	風通しの良い職場づくりに努める	日々の情報交換、スマホアプリで情報共有した
支援技術の向上	職場内研修：ヘルパー研修、ミーティング（1 回/月）	新型コロナウイルス感染防止対策のためヘルパー研修は研修資料配布 常勤職員会議、ミーティングは実施した
	外部研修：市内調整会議、連携会議等	1 名出席した
	自己啓発：SDS	事業所の自己啓発援助制度について推進した

提供サービスの点検	職員会議等で情報を共有し、困難ケースについてはチームで検討し、より良いサービス提供に努める	困難事例発生時は職員会議での検討、必要時には担当職員による担当者会議を行ない検討した
	自己評価の実施	全職員（登録含む）7 月、1 月
生活・支援環境の充実	現在の事務所は鉄筋・スレートのため、夏は暑く冬は寒いので創意工夫し、快適な空間をめざす	衣類で調節し、エアコン、サーキュレーター、加湿器を使用し職場環境の改善に努めた
創意工夫による業務の改善	登録ヘルパーに日報、集計表の提出日を設け、事務員は誤りがないかチェックし、請求業務の効率化を図る（3 回/月）	感染状況に応じて提出回数、提出場所を制限しながら実施した
	スマートフォンのアプリを利用し、確実・迅速に事務連絡を行なう	全職員を対象にグループ設定を行ない、確実に事務連絡を伝達した
地域と利用者の交流促進	地域住民から介護の相談等ある時は、情報提供していく また、介護支援専門員・訪問介護の依頼がある時は積極的に受けていく	介護保険の申請方法、介護支援専門員の事業所やや福祉用具などの相談を受け情報提供した
セーフティネット機能の推進	報酬の関係から、障害福祉、介護予防を受けない事業所があるが、可能な限り受けていく 介護支援専門員に関しても、単価の低い障害、予防も、引き受けていく	障害福祉、介護予防とも積極的に受諾した
地域生活支援	自立した日常生活、社会生活が営めるように、地域の特性や利用者の状況に応じて人格と個性を尊重した援助に努める	地域の自治会長・民生委員との連携を密にし、住み慣れた場所で自立した生活が営めるよう配慮した
個人情報保護の徹底	秘密情報の保持に関する契約書により周知徹底を図り、署名・捺印を行なう	契約時に周知し、署名捺印を行なった
	定期的に周知をし、意識づけを図る	職員会議時に周知した

③　施設機能の地域提供

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
社会資源としての地域提供	一般市民への介護、障害の情報提供、相談業務を行う	介護保険制度、申請方法などの相談に対応した
ライフステージに対応したサービス調整	相談支援～障害児相談から介護保険対象者まで	年齢、状況に応じて、先を見据えた計画を作成することを心掛けた
	ヘルパー～障害から介護まで	個々の状態に合った、自立に向けての支援を心掛けた
多様な福祉サービス事業の提供	相談支援～障害児相談から介護保険対象者まで	障害から高齢者までの包括的なケアマネジメントを行なった
	ヘルパー～障害から介護まで、同行援護・移動支援対応 制度外は個人契約対応	個々の状態に合った包括的な居宅介護を行なった

④　地域とのコミュニケーション

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
地域への情報発信	圏域別地域ケア会議への出席	開催時には１名出席した
	ホームページの充実・更新	適時利用
	センターだよりの配布：毎月 15 日	毎月 15 日に配布した
参画・政策提言	防府市地域総合支援協議会：サービス調整会議への隔月出席	開催時には１名出席した

⑤　人材の確保・人材の育成

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
養成校、関係団体等との連携	中村女子学園専攻科実習生受け入れ	依頼なし
	YIC 看護福祉専門学校福祉学科実習生受け入れ	依頼なし
職員の育成	主任介護支援専門員研修	必須研修２名参加
	主任相談支援専門員	該当者なし
教育研修の充実	外部研修への積極的参加	開催時には積極的に参加した
	防府市ホームヘルパー連絡協議会での研修	コロナ禍のため研修会なし
	日本介護支援専門員協会での情報収集及び主任介護支援専門員で必要な研修（4 回以上/年）	主任介護支援専門員職員が更新に必要な研修に出席した

⑥　魅力ある職場づくり

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
ワークライフバランスへの配慮	年次有給休暇５日以上取得	取得できた
	夏季休暇の 100%取得	取得できた
自己啓発の促進	資格取得の推奨と支援	研修等の情報提供を行なった
風通しのよい職場づくり	日々のコミュニケーション	積極的に職員間で情報交換を行なった
職員体制･連携強化への取り組み	職員会議（研修）開催１回/月	会議内で制度等の情報共有を行なった

⑦　経営基盤の安定・強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
経営改善のための取り組み	パソコン及び周辺機器の適正化、コスト削減	システムの契約台数を制限しコストを削減した
	購入物品の精査、ファイル・用紙等の再利用などによる経費削減	必要最小限の物品購入に努めた
経営意識の醸成	介護給付費明細書の職員への回覧	国保連伝送後、職員へ回覧した
	収支状況、施設長会議の内容の周知	職員会議内で常勤職員に周知した

⑧　コンプライアンスの徹底

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
コンプライアンスの推進	組織図、業務分担表を掲示し、指揮系統を周知する	回覧後、事務所内に掲示し周知した
労務管理の徹底	就業時間の順守	定時に退所、定時以降に援助の場合は時間外を報告し、時間外勤務命令書を提出した
	柔軟な休憩時間の取得	訪問時間に応じて休憩時間を取得した

⑨　防災・防犯対策の強化

項　　目	令和４年度計画	令和４年度取組状況報告(内容・評価)
定期の防災訓練、防犯訓練	商店街：タネダ家具店との合同訓練の実施	タネダ家具店との合同訓練を実施した
災害協力・安全協力体制の推進と整備	商店街との合同訓練の実施	実施なし

4　利用状況

◎訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

月別ケース数状況　（単位　件）

種　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介　護　保　険	33	30	29	32	27	26	28	29	30	35	29	29	357
介護保険(予防介護)	33	33	33	33	36	35	34	37	37	38	37	37	423
障　害　福　祉 (同行援護を含む)	22	21	26	25	27	24	27	29	27	22	22	20	292
計	88	84	88	90	90	85	89	95	94	95	88	86	1,072

月別ヘルパー在籍状況　（単位　人）

勤務形態別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常　　勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登　　録	21	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19

◎居宅介護支援事業（ケアマネージメント）

月別介護支援計画作成状況　（単位　件）

種　別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成　数	介護	90	83	87	89	81	86	85	86	86	88	88	95	1,044
	予防	58	58	60	62	60	59	61	62	63	62	63	61	729

月別ケアマネージャー在籍状況　（単位　人）

勤務形態	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常　勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

◎障害者・障害児相談支援事業（障害ケアマネージメント）

月別介護支援計画作成状況　（単位　件）

項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談支援	13	8	13	14	15	15	12	7	10	14	13	14	148
障害児支援	1	0	0	0	1	2	1	1	0	0	1	1	8
ケース数	53	54	53	53	51	54	53	52	52	51	51	51	628

5　主な事業の利用率

事　業　名	定員(人)	利用延べ人数(人)	利用率(%)	備　　考
介護・訪問介護	―	357 人	―	前年度比： 81%
介護・訪問型サービス	―	423 人	―	前年度比：100%
居宅介護・同行援護	―	292 人	―	前年度比：119%
居宅介護支援・介護	―	1,044 人	―	前年度比：102%
居宅介護支援・予防	―	729 人	―	前年度比： 97%
相談支援	―	156 人	―	前年度比：101%

6　実施行事及び参加行事

実績はありません

7　地域貢献活動、職員研修等について

【職員研修状況】
主任介護支援専門員更新研修